

近畿厚生局長 殿

開設者名 大阪府守口市文園町10-7
学校法人 関西医科
理事長 山下 敏

印

関西医科大学附属枚方病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	70人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

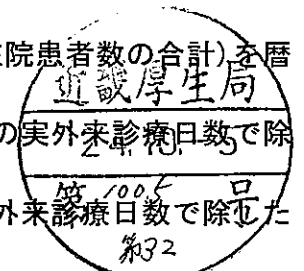
職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	280人	65人	296.8人	看護補助者	16人	診療エックス線技師	人
歯科医師	人	人	人	理学療法士	9人	臨床検査技師	66人
薬剤師	47人	1人	47.1人	作業療法士	4人	臨床検査衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	7人	その他	人
助産師	37人	人	37.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧	1人
看護師	760人	32人	786.9人	臨床工学技士	12人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	1人	人	人	栄養士	人	その他の技術員	28人
歯科衛生士	人	人	人	歯科技工士	人	事務職員	77人
管理栄養士	5人	5人	5.7人	診療放射線技師	36人	その他の職員	1人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	633.3人	0.0人	633.3人
1日当たり平均外来患者数	1,728.2人	0.0人	1,728.2人
1日当たり平均調剤数	771.50剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	71人	・膿疱性乾癬	1人
・多発性硬化症	2人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	12人	・原発性胆汁性肝硬変	69人
・全身性エリテマトーデス	198人	・重症急性膵炎	21人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	64人
・再生不良性貧血	41人	・混合性結合組織病	28人
・サルコイドーシス	97人	・原発性免疫不全症候群	2人
・筋萎縮性側索硬化症	0人	・特発性間質性肺炎	8人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	154人	・網膜色素変性症	82人
・特発性血小板減少性紫斑病	143人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	22人	・肺動脈性肺高血圧症	6人
・潰瘍性大腸炎	157人	・神経線維腫症	42人
・大動脈炎症候群	19人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	21人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3人
・脊髄小脳変性症	3人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	65人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	5人
・悪性関節リウマチ	15人	・脊髄性筋委縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	57人	・球脊髄性筋委縮症	1人
		・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0人
・アミロイドーシス	7人	・肥大型心筋症	58人
・後縦靭帯骨化症	67人	・拘束型心筋症	0人
・ハンチントン病	0人	・ミトコンドリア病	1人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	8人	・リンパ管筋腫症(LAM)	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	0人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	24人	・黄色靭帯骨化症	2人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	16人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
新規疾患,IgG4関連多臓器リンパ増殖性疾患(IgG4+MOLPS)の確立のための研究	岡崎 和一	第三内科	800,000	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
難治性膵疾患に関する調査研究	岡崎 和一	第三内科	1,400,000	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
原因不明小腸潰瘍症の実態把握、疾患概念、疫学、治療体系の確立に関する研究	岡崎 和一	第三内科	500,000	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	岡崎 和一	第三内科	1,000,000	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
網膜脈絡膜-視神経萎縮症に関する調査研究	高橋 寛二	眼科	3,000,000	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
血管新生黄斑症に対するペプチドワクチン療法	高橋 寛二	眼科	2,500,000	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
灌流法により採取された骨髄細胞を用いた骨髄内骨髄移植療法:基礎から臨床へ	森 眞一郎	第一内科	680,000	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
治癒切除後の再発リスクが高い進行胃がん(スキルス胃がんなど)に対する標準的治療の確立に関する研究	井上 健太郎	外科	300,000	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
顕微鏡感覚で使え、安心・安全を提供する手術用立体内視鏡システムの試作開発と臨床応用	友田 幸一	耳鼻咽喉科	700,000	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
IgG4関連全身硬化性疾患の診断法の確立と治療方法の開発に関する研究	岡崎 和一	第三内科	13,000,000	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
生活習慣病予防のための運動を阻害する要因とその原因別の対策に関する研究	木村 稔	健康科学科	1,000,000	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
保健指導を中心とした地域における脳卒中及び心筋梗塞の再発予防システムとエビデンス構築に関する研究	木村 稔	健康科学科	2,000,000	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
有効なIVR手技の開発と標準化のための多施設共同研究	谷川 昇	放射線科	1,000,000	補委 厚生労働省 がん研究開発費 補助金

小計
13

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
血中S100A12タンパク質の動脈硬化および心血管イベントへの関与に関する研究	小崎 篤志	総合診療科	1,040,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
Th2細胞におけるBam32の発現及びBam32依存性TCR Signalの解析	宮地 理彦	第一内科	910,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
血管内皮細胞由来マイクロパーティクルによるDIC病態早期診断法の研究	野村 昌作	第一内科	2,860,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
加齢黄斑変性における網膜色素上皮細胞の小胞体ストレスの関与の解明と治療法への応用	高橋 寛二	眼科	1,430,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
肥満による左室拡張能と血管内皮機能への影響、およびその運動療法の効果に関する検討	宮坂 陽子	第二内科	1,560,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
マイクロバブル化炭酸ガスを用いた超短時間型塞栓剤の開発	澤田 敏	放射線科	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
自己免疫性膵炎の発症機序とIgG4産生制御に関する免疫学的研究	岡崎 和一	第三内科	2,080,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
機能性身体症候群における精神生理学的評価と心理的評価を用いた病態の検討	神原 憲治	心療内科	910,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
モデルマウスを用いた遺伝性腎炎に対する画期的腎再生法の研究	金子 一成	小児科	910,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
手術後創部痛の完全克服を目的とした埋め込み式持続鎮痛ゲルの開発	海堀 昌樹	外科	2,080,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
EGFとIPCによる小腸移植時における虚血再還流障害の抑制	浜田 吉則	外科	2,860,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
腹腔鏡手術における鉗子先端作用力計測と剥離技術分析に関する研究	松田 公志	泌尿器科	520,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
アディポサイトカインによる糖尿病網膜症における病態の解明と新しい治療法の開発	城 信雄	眼科	1,430,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計
13

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
標識アネキシンVを用いた放射線誘導アポトーシスとFDG腫瘍代謝能の基礎的検討	河 相吉	放射線科	1,040,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
マイクロバブルジェネレータカテーテルを用いた高密度炭酸ガスマイクロバブル血管造影	狩谷 秀治	放射線科	1,820,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
4点連結式経皮的管腔臓器バイパス術の開発	八木 理絵	放射線科	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
IFN- α と放射線治療効果増強に向けたBID分子標的療法の検討	津野 隆哉	放射線科	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
CT透視下穿刺支援デバイスシステムの開発	中谷 幸	放射線科	650,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
細胞外基質Fibulin-1の解析による着床障害の病態解明	岡田 英孝	産婦人科	1,950,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
低酸素・内分泌環境における子宮内膜の血管新生因子の発現調整	神崎 秀陽	産婦人科	1,950,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
サルコイドーシスにおけるB細胞およびBAFFの異常と単球の関与	植田 郁子	皮膚科	1,820,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
中枢神経系における内因性ジギタリスを介した高血圧発症メカニズムの解明	吉賀 正亨	臨床検査医学	1,820,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
漢方薬の肝障害抑制効果のスクリーニングと有効成分の同定	権 雅憲	外科	2,000,000	補委 (財)藤井節郎記念大阪 基礎医学研究症例会 平成23年度研究助成金
細胞由来マイクロパーティクルと樹状細胞による免疫誘導制御機構に関する研究	野村 昌作	第一内科	2,000,000	補委 (財)藤井節郎記念大阪 基礎医学研究症例会 平成23年度研究助成金
未熟児動脈管開存症におけるインドメサシン症による乏尿の出現機序に関する研究 尿中Aquaporin-2の検討	辻 章志	小児科	500,000	補委 公益財団法人 森永奉仕会 研究助成金
Stage III (Dukes' C) 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのカベシタビンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験	岩本 慈能	外科	60,000	補委 財団法人 がん集学的治療 研究財団研究助成金

小計
13

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International journal of general medicine 4:539-545	Effects of miglitol in platelet-derived microparticle, adiponectin, and selectin level in patients with type 2 diabetes mellitus.	Nomura S	血液呼吸器膠原病内科
International journal of general medicine 2011(4):677-680	Antiplatelet antibody may cause delayed transfusion-related acute lung injury.	Torii Y	血液呼吸器膠原病内科
International journal of hematology 93(6):822-824	Perfusion method for bone marrow cell collection in poor mobilizer lymphoma patient.	Mori S	血液呼吸器膠原病内科
Thrombosis and haemostasis 105(6):1118-1120	Can recombinant thrombomodulin play a preventive role for veno-occlusive disease after haematopoietic stem cell transplantation?	Nomura S	血液呼吸器膠原病内科
The American journal of cardiology 107(11):1604-1608	A New Protocol Using Sodium Bicarbonate for the Prevention of Contrast-Induced Nephropathy in Patients Undergoing Coronary Angiography.	Motohiro M	循環器腎内分泌内科
Clinical and experimental nephrology 3(3):419-423	A Japanese case of proteinase 3 antineutrophil cytoplasmic autoantibody-associated pauci-immune-type crescentic glomerulonephritis without valvular endocarditis.	Morimoto S	循環器腎内分泌内科
JAMA 305(20):2116-2117	Mortality Risk Among Middle-aged Women With First Atrial Fibrillation	Miyasaka Y	循環器腎内分泌内科
Journal of the American Society of Echocardiography 24(6):680-686	Left Atrial Volume by Real-Time Three-Dimensional Echocardiography: Validation by 64-Slice Multidetector Computed Tomography.	Miyasaka Y	循環器腎内分泌内科
Nuclear medicine communications 32(12):1174-1178	Direct correlation between regional systolic function and regional washout rate of 99mTc-sestamibi in patients with idiopathic dilated cardiomyopathy.	Takehana K	循環器腎内分泌内科
Clinical reviews in allergy & immunology 41(2):126-138	Recent Concepts of Autoimmune Pancreatitis and IgG4-Related Disease.	Okazaki K	消化器肝臓内科
Current immunology reviews 7(2):204-211	Immunological aspects of IgG4-related disease	Okazaki K	消化器肝臓内科
Gastrointestinal endoscopy 73(5):1060-1062	Double-balloon enteroscopy for multiple ischemic stenoses in the jejunum caused by cholesterol crystal embolisms.	Miyamoto S	消化器肝臓内科
Journal of drug targeting 19(6):458-467	The effective therapy of cyclosporine A with drug delivery system in experimental colitis.	Fukata N	消化器肝臓内科
Pancreas 40(7):1120-1130	Involvement of Inducible Costimulator- and Interleukin 10-Positive Regulatory T Cells in the Development of IgG4-Related Autoimmune Pancreatitis.	Kusuda T	消化器肝臓内科
肝・胆・膵 62(4):803-812	PSCでのIgG4高値例とその臨床的意義-欧米との比較を中心に	岡崎 和一	消化器肝臓内科
International journal of rheumatology 2012:Article No.357071	Are Classification Criteria for IgG4-RD Now Possible? The Concept of IgG4-Related Disease and Proposal of Comprehensive Diagnostic Criteria in Japan.	Okazaki K	消化器肝臓内科

小計
16

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
救急・集中治療 24(1-2):50-55	II 救急外来で遭遇する精神症状・精神障害 Q8.昏睡状態との触れ込みで搬送された緊張病性昏迷の患者への対応	板東 宏樹	精神神経科
The Journal of pediatrics 159(2):352	Vesicoureteric reflux in infants with febrile urinary tract infection: Avoiding a cystourethrogram cannot be justified yet.	Kaneko K	小児科
Pediatric Reports 3(e27):108-110	Impact of obesity on childhood kidney	Kaneko K	小児科
Pediatric cardiology 32(8):1106-1109	Prediction of the Risk of Coronary Arterial Lesions in Kawasaki Disease by Brain Natriuretic Peptide.	Kaneko K	小児科
Pediatric nephrology 27(1):155-156	Change in urinary 8-hydroxydeoxyguanosine in idiopathic nephrotic syndrome.	Kaneko K	小児科
Pediatric cardiology Feb 11. [Epub ahead of print]	Intravenous Immunoglobulin Counteracts Oxidative Stress in Kawasaki Disease.	Kaneko K	小児科
Pediatrics international 54(1):8-13	Treatment for Nocturnal Enuresis: The Current State in Japan.	Kaneko K	小児科
Annals of nuclear medicine 25(9):593-602	Usefulness of Tc-99m-GSA scintigraphy for liver surgery.	Kaibori M	外科
Anticancer research 31(10):3567-3571	Efficacy of Meloxicam in Combination with Preoperative Chemotherapy for Breast Cancer - Japan Breast Cancer Research Network (JBCRN) 02-1 Trial.	Yamamoto D	外科
Anticancer research 31(10):3517-3520	Endoscopic appearance and clinicopathological character of breast cancer.	Yamamoto D	外科
European surgical research 47(4):274-283	Active Hexose Correlated Compound Inhibits the Expression of Proinflammatory Biomarker iNOS in Hepatocytes.	Matsui K	外科
Hepato-gastroenterology 58(110-111):1747-1756	Postoperative infectious and non-infectious complications after hepatectomy for hepatocellular carcinoma.	Kaibori M	外科
Journal of Hepato- Biliary-Pancreatic Sciences 18(4):609-614	Use of the new ultrasonically curved shear in pancreaticoduodenectomy for periampullary cancer.	Satoi S	外科
Pancreas 40(3):426-432	Selective Use of Staging Laparoscopy Based on Carbohydrate Antigen 19-9 Level and Tumor Size in Patients With Radiographically Defined Potentially or Borderline Resectable Pancreatic Cancer.	Satoi S	外科
Surgery 150(1):91-98	Intraoperative indocyanine green fluorescent imaging for prevention of bile leakage after hepatic resection.	Kaibori M	外科
Journal of Microwave Surgery 29:127-131	肝硬変合併巨大肝細胞癌における開腹下マイクロ波凝固壊死療法の工夫	松井 康輔	外科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
外科 73(10):1079-1082	癌個別化医療はどこまですすんだのか 8.膵癌の個別化医療-癌ペプチドワクチン療法を中心に	柳本 泰明	外科
癌と化学療法 38(12):2493-2495	当科における切除不能肝細胞癌症例に対するSorafenibの治療経験	石崎 守彦	外科
月刊消化器内科 52(6):611-616	消化器癌をめぐる栄養療法 障害肝合併肝細胞癌患者の肝切除周術期における運動・栄養療法の臨床効果	海堀 昌樹	外科
手術 65(12):1785-1788	肝胆膵 膵癌におけるstaging laparoscopyの手法	豊川 秀吉	外科
消化器外科 34(8):1231-1238	胆道・膵疾患の画像診断 膵疾患 膵癌 画像診断とその問題点	里井 壯平	外科
消化器外科 (7):1109-1116	肝細胞癌治療前後の補助療法	海堀 昌樹	外科
消化器外科学レビュー 2011:98-105	肝疾患 その他の肝腫	海堀 昌樹	外科
胆と膵 32(7):631-634	Borderline Resectable膵癌をめぐる膵癌切除患者における術前化学放射線療法と長期成績	里井 壯平	外科
臨床腫瘍プラクティス 7(4):426-429	ゲムシタビン単独療法が奏効した肝門部胆管がんの1例	柳本 泰明	外科
膵・胆道癌Frontier 1(1):20-23	誌上ディベート 切除可能膵癌に有効な補助療法とは 術前補助化学放射線療法の立場から	里井 壯平	外科
Analytical and bioanalytical chemistry 402(5):1921-1930	Identification of oligosaccharides from histopathological sections by MALDI imaging mass spectrometry.	Yamada M	外科
European journal of surgical oncology 38(2):143-149	Phase II trial of preoperative S-1 plus cisplatin followed by surgery for initially unresectable locally advanced gastric cancer.	Inoue K	外科
Hepatology research 42(1):76-90	Japanese herbal medicine, inchinkoto, inhibits inducible nitric oxide synthase induction in interleukin-1 β -stimulated hepatocytes.	Matsuura T	外科
Langenbeck's archives of surgery 397(3):373-381	Predictors and outcome of early recurrence after resection of hepatic metastases from colorectal cancer.	Kaibori M	外科
Pancreas 41(2):333-335	Long-term results of surgical resection after preoperative chemoradiation in patients with pancreatic cancer.	Satoi S	外科
Transplantation proceedings 44(2):344-346	Change in donor quality of life after living donor liver transplantation surgery: a single-institution experience.	Ishizaki M	外科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
医学と薬学 67(3):445-447	ソラフェニブ投与進行肝細胞癌患者に対する人參養榮湯の併用効果の検討	海堀 昌樹	外科
消化器外科学レビュー 2012:94-101	肝疾患 その他の肝腫瘍	海堀 昌樹	外科
小児の脳神経 36(4):384-386	軽度の頭蓋縫合早期癒合症による発達障害、閉鎖性二分脊椎、先天性中枢系奇形に関する再考察	稲垣 隆介	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル 20(1):782-789	小児脳神経外科における諸問題 神経発生からみた二分脊椎、その発生と予防について	稲垣 隆介	脳神経外科
Journal Of The American Geriatrics Society 59(8):1568-1570	Field medicine for reconsidering "optimal aging".	Wada T	整形外科
Modern rheumatology (3):302-304	A case of rheumatoid pericarditis associated with a high IL-6 titer in the pericardial fluid and tocilizumab treatment.	Ozaki Y	リウマチ・膠原病科
Stem cells and development 20(4):671-679	New Strategies for Anterior Cruciate Ligament Partial Rupture using Bone Marrow Transplantation in Rats.	Oe K	整形外科
Hip Joint 37:248-250	股関節唇損傷とFAIの相関性について:MRA撮影例での検討	和田 孝彦	整形外科
Hip Joint 37:204-207	バンコマイシン含有セメントによる人工関節再置換術後感染予防の可能性	おおえ 賢一	整形外科
Journal of Spine Research 2(7):1297-1301	転移性脊椎腫瘍の手術成績の検討	串田 剛俊	整形外科
Journal of Spine Research 2(10):1607-1611	術後深部感染のため胸腰椎instrumentationを抜去した3例の検討 抜去後2年以上経過例の検討	串田 剛俊	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 54(4):857-858	高齢者の胸腰椎後方固定術後周術期の血中リンパ球ならびにCRPの推移	串田 剛俊	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 54(3):567-568	下垂足を来した梨状筋症候群の1例	池浦 淳	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 54(3):551-552	脊髄造影および腰椎神経根ブロックにおける放射線被曝線量の検討	串田 剛俊	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 54(3):521-522	MRSA感染後に腰椎後方インプラントを抜去した2例の検討	串田 剛俊	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 54(3):447-448	マウスモデルにおける骨髄内骨髄移植を用いた関節リウマチ発症原因の検討	串田 剛俊	整形外科

小計
16

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
日本骨・関節感染症学会雑誌 24:73-78	脊椎インストゥルメンテーション手術後深部感染に対する治療戦略-MRSA感染と非MRSA感染の比較-	串田 剛俊	整形外科
日本臨床整形外科学会雑誌 36(2):351-354	日本の生活様式におけるHi-Flex posterior-stabilized tibial insertを用いたGENESIS II人工膝関節全置換術の短期臨床成績	大野 博史	整形外科
PEPARS (58):34-39	(特集 Local flap method) 眼瞼のLocal flap method	楠本 健司	形成外科
医学のあゆみ 237(1):141-145	多血小板血漿(PRP)による慢性潰瘍の治療	楠本 健司	形成外科
日本美容外科学会会報 33(2):71-77	多血小板血漿(PRP)療法の原理とその効果-効果の差を生じる可能性がある10のポイント-	楠本 健司	形成外科
Plastic and Reconstructive Surgery (2):138-142	易感染性宿主に発症したClostridium性ガス壊疽の1例	大橋 苑子	皮膚科
日本小児皮膚科学会雑誌 30(3):203-206	家族内発症したTrichophyton tonsurans感染症	楠山 太郎	皮膚科
日本皮膚科学会雑誌 121(10):1997-2035	創傷・熱傷ガイドライン委員会報告-3:糖尿病性潰瘍・壊疽ガイドライン	為政 大幾	皮膚科
皮膚の科学 10(5):424-441	新規紫外線吸収剤を配合したブロードスペクトラム日やけ止め化粧料BSUSミルケ-1の光線過敏症患者への使用試験	岡本 祐之	皮膚科
日本皮膚科学会雑誌 122(2):281-319	創傷・熱傷ガイドライン委員会報告-3:糖尿病性潰瘍・壊疽ガイドライン	為政 大幾	皮膚科
International Journal of Urology 18(7):548-549	Pheochromocytoma and subclinical Cushing's syndrome with focal adrenocortical hyperplasia	Takizawa N	泌尿器科
International journal of Urology 18(9):653-658	Prostate cancer detection by prebiopsy 3.0-Tesla magnetic resonance imaging.	Kinoshita H	泌尿器科
泌尿器外科 24(4):601-604	腹腔鏡下腎部分切除術 腎機能	木下 秀文	泌尿器科
眼科臨床紀要 4(10):956-958	RetCamIIを用いて観察したBloch-Sulzberger症候群の1例	盛 佑子	眼科
AJR. American journal of roentgenology 196(6):1415-1418	Percutaneous vertebroplasty for osteoporotic compression fractures: long-term evaluation of the technical and clinical outcomes.	Tanigawa N	放射線科
Supportive care in cancer 19(5):691-695	Six- versus 12-h conversion method from intravenous to transdermal fentanyl in chronic cancer pain: a randomized study.	Kamata M	放射線科

小計
16

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入ること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
AJR. American journal of roentgenology 198(1):W51-W54	Added value of percutaneous vertebroplasty: effects on respiratory function.	Tanigawa N	放射線科
International journal of radiation oncology, biology, physics Mar 11. [Epub ahead of print]	Recursive Partitioning Analysis for New Classification of Patients with Esophageal Cancer Treated by Chemoradiotherapy.	Nomura M	放射線科
Minimally invasive therapy & allied technologies Feb 29. [Epub ahead of print]	Analysis of factors influencing accuracy and complications in CT-guided lung biopsy.	Nakatani M	放射線科
Minimally invasive therapy & allied technologies 21(2):83-89	Percutaneous bypass creation between hollow organs by modified gun-sight approach.	Kariya S	放射線科
Minimally invasive therapy & allied technologies 21(2):108-112	Metallic stent placement for malignant airway stenosis.	Tanigawa N	放射線科
Brain research 87:125-133	Possible role of propofol's cyclooxygenase-inhibiting property in alleviating dopaminergic neuronal loss in the substantia nigra in an MPTP-induced murine model of Parkinson's disease.	Kubo K	麻酔科
ペインクリニック 32(12):1883-1885	ブレガバリン内服により下肢の浮腫を生じた症例	増澤 宗洋	麻酔科
日本集中治療医学会雑誌 18(2):233-237	若年女性にみられた非腫瘍随伴性抗N-methyl-D-aspartate(NMDA)受容体脳炎の1症例	濱野 宣行	麻酔科
Annals of diagnostic pathology 15(4):282-285	Clear cell papillary renal cell carcinoma and clear cell renal cell carcinoma arising in acquired cystic disease of the kidney: an immunohistochemical and genetic study.	Ohe C	臨床検査医学科
Annals of diagnostic pathology 15(3):202-206	Clear cell renal cell carcinoma with focal renal angiomyoadenomatous tumor-like area	Ohe C	臨床検査医学科
Blood pressure monitoring 16(4):203-207	Validation of home blood pressure-monitoring devices, Omron HEM-1020 and Omron i-Q132 (HEM-1010-E), according to the European Society of Hypertension International Protocol.	Takahashi H	臨床検査医学科
Clinical and applied thrombosis/hemostasis 17(4):410-413	A Difficult Diagnosis Case of Prolonged Thrombocytopenia With Sepsis and Disseminated Intravascular Coagulation.	Yoshika M	臨床検査医学科
Diabetes research and clinical practice 94(2):167-171	Serotonin levels in platelet-poor plasma and whole blood in type-2 diabetic patients with chronic kidney disease.	Takahashi H	臨床検査医学科
Diagnostic pathology 6:Article No.80	Review of juxtaglomerular cell tumor with focus on pathobiological aspect.	Ohe C	臨床検査医学科
Hypertension research 34(1):1147-1160	The central mechanism underlying hypertension: a review of the roles of sodium ions, epithelial sodium channels, the renin-angiotensin-aldosterone system, oxidative stress and endogenous digitalis in the brain.	Takahashi H	臨床検査医学科
Journal of atherosclerosis and thrombosis 18(10):874-882	Serotonin levels in platelet-poor plasma and whole blood from healthy subjects: relationship with lipid markers and coronary heart disease risk score.	Takahashi H	臨床検査医学科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Medical molecular morphology 44(2):111-115	Immunohistochemical application of S100A1 in renal oncocytoma, oncocytic papillary renal cell carcinoma, and two variants of chromophobe renal cell carcinoma.	Ohe C	臨床検査医学科
Nephron, Clinical practice 2011(119):C301-C309	Oral Nicorandil for Prevention of Cardiac Death in Hemodialysis Patients without Obstructive Coronary Artery Disease: A Propensity-Matched Patient Analysis.	Takahashi H	臨床検査医学
Neurochemistry international 59(2):104-108	An ouabain-like factor is secreted from immortalized hypothalamic cells in an aldosterone-dependent manner.	Yoshika M	臨床検査医学
感染症学雑誌 85(6):652-657	Real-time PRC法によるMycoplasma Pneumoniaeの検出と、そのマクロライド耐性化について	高橋 伯夫	臨床検査医学
日本臨床微生物学雑誌 21(3):193-202	血液培養から分離されたEscherichia coliのβ-ラクタム薬耐性に関する解析	高橋 伯夫	臨床検査医学
臨床化学 30(4):325-332	C反応性蛋白	高橋 伯夫	臨床検査医学
臨床病理 59(8):795-800	心血管事故予測因子としてのアディポネクチン?透析患者のPCI後再狭窄予測因子としての可能性?	高橋 伯夫	臨床検査医学
JOHNS 27(6):886-890	鼻副鼻腔疾患に対する新たな治療戦略 Balloon sinuplastyの現況と展望	友田 幸一	耳鼻咽喉科
アレルギー・免疫 18(8):1142-1149	アレルギー疾患治療の最近の進歩と展望 II.耳鼻科 3.アレルギー性鼻炎に対する鼻粘膜凝固器,光線療法器の展望	朝子 幹也	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 83(11):815-818	こんなときどうする?-鼻科手術編 鼻中隔穿孔になるか?!	朝子 幹也	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望 54(5):336-340	Aquarius NETによる3D-CT術前シミュレーションの有用性	尹 泰貴	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望 54(5):319-321	ナビゲーションシステムを用いた鼻内内視鏡手術教育プログラム作成の試み	馬場 一泰	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望 54(5):306-309	鼻内手術用立体内視鏡の臨床応用	友田 幸一	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望 54(5):302-306	バイオネット型電気手術用メス先電極の鼻科手術における有用性	朝子 幹也	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望 54(5):297-300	EndoScrubの外筒を利用した電子内視鏡の硬性化について	村田 英之	耳鼻咽喉科
大阪保険医雑誌 39(534):53-59	鼻副鼻腔手術の新しい話題	友田 幸一	耳鼻咽喉科

小計
16

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本気管食道科学会会報 62(5):501-503	用語解説 気管・食道領域のナビゲーション手術	友田 幸一	耳鼻咽喉科
日本気管食道科学会会報 62(2):116-118	頭頸部・食道・肺領域のナビゲーションサージェリー 頭頸部領域のナビゲーションサージェリー	友田 幸一	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会会報 114(8):713-720	Balloon Sinuplasty	友田 幸一	耳鼻咽喉科
International journal of oral and maxillofacial surgery 41(1):9-16	Evaluation of postoperative function in patients undergoing reconstruction following resection of superior and lateral oropharyngeal cancer: long-term outcomes of reconstruction with the Gehanno method.	Inoue T	耳鼻咽喉科
JOHNS 28(1):77-83	花粉症の疑問に答える 外科治療の役割は今どうなっているか?	朝子 幹也	耳鼻咽喉科
マイルドヘルス (2):120-124	花粉症の治療 手術療法 子どもの花粉症に手術のメリットはあるのか?	朝子 幹也	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床	鼻内内視鏡手術教育 — 行動工学的手法を用いた手術支援・能力の評価と指導 —	友田 幸一	耳鼻咽喉科
嚥下医学 1(1):178-183	当科における下顎歯肉癌切除と経口摂取状態の検討	宮本 真	耳鼻咽喉科
日本心療内科学会誌 15(2):81-87	総合診療から心療内科へ “真”の心身症患者との出会い 心療内科医だからできる総合診療	西山 順滋	心療内科
Fertility and sterility 96(6):1378-1383	Angiotensin 1 and angiotensin 2 in follicular fluid of women undergoing a long protocol.	Okada H	産婦人科
Fertility and sterility 96(3):786-791	Progesterins inhibit estradiol-induced vascular endothelial growth factor and stromal cell-derived factor 1 in human endometrial stromal cells.	Okada H	産婦人科
HORMONE FRONTIER GYNECOLOGY 18(2):213-214	ホルモンQ&A 黄体補充に使用されるプロゲステンについて教えてください	岡田 英孝	産婦人科
HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY 18(2):212-213	ホルモンQ&A 卵巣予備能について教えてください	岡田 英孝	産婦人科
産婦人科の進歩 63(4):514-515	骨盤位の問題点 現状と将来	榎木 晋	産婦人科
産婦人科治療 102(増刊):565-570	着床・出生前診断 不妊と着床 不妊の治療に必要な着床の知識	岡田 英孝	産婦人科
Human reproduction 27(2):523-530	Hypoxic stress simultaneously stimulates vascular endothelial growth factor via hypoxia-inducible factor-1 α and inhibits stromal cell-derived factor-1 in human endometrial stromal cells.	Okada H	産婦人科

小計
16

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 今村洋二
管理担当者氏名	事務部長 竹林俊雄、看護部長 安田照美、薬剤部 廣田育彦

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		管理課、各診療科、薬剤部、手術部、各病棟、臨床検査部、放射線部、病歴情報課、地域医療連携部	保管部署で管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	
	高度の医療の実績	各診療科	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科	
	高度の医療の研修の実績	各診療科	
	閲覧実績	病歴情報課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療連携部	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	
項規第一第一号に掲げる第一項各号の及び第九条の二十三第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	47回	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	34回	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	有	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(3名)	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(5名)	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有(5名)	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理 及び諸記 録	規則第一条の十一 第一項各号及び第九 条の二十三第一項 第一号に掲げる体 制の確保の状況	院内感染対策のための 指針の策定状況	有
		院内感染対策のための 委員会の開催状況	14回
		従業者に対する院内感 染対策のための研修の実 施状況	14回
		感染症の発生状況の報 告その他の院内感染対策 の推進を目的とした改善 のための方策の実施状況	有
		医薬品の使用に係る安 全な管理のための責任者 の配置状況	有
		従業者に対する医薬品 の安全使用のための研修 の実施状況	有
		医薬品の安全使用のた めの業務に関する手順書 の作成及び当該手順書に 基づく業務の実施状況	有
		医薬品の安全使用のた めに必要となる情報の収 集その他の医薬品の安全 使用を目的とした改善の ための方策の実施状況	有
		医療機器の安全使用の ための責任者の配置状況	有
		従業者に対する医療機 器の安全使用のための研 修の実施状況	80回
		医療機器の保守点検に 関する計画の策定及び保 守点検の実施状況	有
		医療機器の安全使用の ために必要となる情報の 収集その他の医療機器の 安全使用を目的とした改 善のための方策の実施状 況	有

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 今村 洋二
閲覧担当者氏名	医療安全管理部課長 一森 幸一 医療情報部病歴情報課課員 石原 久美子
閲覧の求めに応じる場所	1階 情報ライブラリー室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	80.3 %	算定期間	平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	19,730人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	16,028人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,244人	
	D: 初診の患者の数	30,052人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	① ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療安全管理のための基本方針 2) 医療安全管理のための委員会その他の組織に関する規程 3) 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針 4) 医療事故報告等の医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5) 医療事故発生時の対応に関する基本方針 6) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 (患者等に対する当方針の閲覧に関する基本方針を含む) 7) 患者からの相談への対応に関する基本方針 8) その他医療安全の推進のための必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 47 回
<p>活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療安全管理対策委員会 (12回) 医療安全管理に関する全体の統括を行い、医療事故防止の検討と実行を行う。 2) 医療事故対応委員会： (24回) 医療にかかる事故が発生した場合に医療事故対応方針等を緊急に審議し、迅速に対応し処理することを目的とする。 3) セーフティマネージャー会 (11回) 医療安全管理部と連携して、インシデント事例の把握と改善策を検討し、それらを職員に周知徹底する。 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 34 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p style="text-align: center;">別紙①参照</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>医療機関内における事故報告等の整備 ((有) ・ 無)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 電子化入力運用を行っており、第一報は全職員、第二報通知は、セーフティマネージャーがそれぞれ入力を行っている。 2) 事故報告等の目的は、「個人を罰する事ではなく事故の再発防止に活用することである」と定めている。 3) 報告すべき事項は、療養指導から院内給食に関するものまで29項目である。 4) 報告先は、セーフティマネージャー、所属部門の部長を経て、医療安全管理部、病院長である。緊急を要する場合は直接病院長へ報告し指示を受けて対処する。 5) 医療安全管理部は、報告を受けて速やかに内容を把握し、当該のセーフティマネージャーと分析し、対策を講じる。 <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p><安全研修></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療安全研修ならびにDVD上映会 2) セーフティマネージャー会研修 3) 技術教育 (超音波装置を使用した中心静脈穿刺について、刺股警戒杖の取扱い) 4) 中途入職者への医療安全に関するオリエンテーション 5) セーフティマネージャー会への研修医の出席 6) 「マンスリーレポート」、「医療安全情報」 	

(様式第13-2)

<情報システムの活用>

- 1) ラーニングシステムによる講演会の配信
- 2) ホームページの開設

<安全巡回>

- 1) テーマに沿った計画的な医療安全管理者による巡回
- 2) 医療事故発生時、発生部署、関連部署へのラウンド
- 3) 私立医科大学病院相互ラウンド

<改善の為の取り組み>

- 1) 医療安全管理マニュアル、ポケットマニュアルを一部改正した。
- 2) 医療安全講習会を計画的に行い、寸劇やビデオを取り入れ客観的に安全対策が伝わるようにした。
- 3) セーフティマネージャー研修を開催しRCA分析手法について教育を行った。
- 4) 禁忌薬登録検討会を発足させ、禁忌薬登録の新設を検討している。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	④ (3 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	④ (5 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	④ ・ 無
・ 所属職員: 専任(6)名 兼任(9)名	
・ 活動の主な内容: 1) 安全管理部門の業務に関する企画立案及び評価を行う 2) 定期的に院内を巡回あい各部門における医療安全対策の実施状況を把握・分析し、医療安全確保のために必要な業務改善等の具体的な対策を推進する 3) 各部門における医療事故防止担当者への支援を行う 4) 医療安全対策の体制確保のための各部門との調整を行う 5) 医療安全対策に係る体制を確保するための職員研修の企画・実施する 6) 相談窓口等の担当者と密接な連携を図り、医療安全対策に係る患者・家族の相談に適切に応じる体制を支援する	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	④ ・ 無

別紙①

医療安全管理研修実施状況（平成23年度実績）

開催年月日	研 修 会 名	参加者数	備 考
平成23年4月19日	医療安全講習会～アナフィラキシーってなあに？～	295	
4月26日	刺股、警戒杖、護身術講習会	51	
5月17日 5月25日	医療安全講習会～聞こう、話そう、伝えよう～ あなたの言葉は相手に伝わっていますか	359	17日 286名 25日 73名
6月3日	臨床検査セミナー 「臨床検査のワンポイントレッスンとピットホール」	213	安全部共催
6月16日	北河内医療安全フォーラム「くすりの安全な使用を目指して」 講師：京都市立病院薬剤科平田敦宏、刀根山病院看護部 林亜紀	26	
6月21日	医療安全講習会「人工呼吸器解体新書」 警告音あなたは何をしますか	238	
7月14日	医療安全講習会「事故分析手法～RCA分析を体験しよう」	188	
7月29日	災害医療研修会 「災害発生時の系統的対応CSCATTTについて」	174	安全部共催
8月5日	北河内医療安全フォーラムDVD上映会（3回） 「くすりの安全な使用を目指して」	149	
8月29日	医療事故報告会「モデル事業結果報告」	151	
8月31日	安全講習「感染・放射線・医療安全のツボ」	53	
9月6日	医療安全講演会「医療事故を医療安全につなげること～患者からみた医療事故」講師 増田法律事務所 増田聖子弁護士	102	
9月8日	医療安全講習会「これでいいんですか？医療安全・感染なんでもQ&A」	232	
9月12日	臨床検査セミナー 「臨床検査によるチーム医療支援活動」	123	安全部共催
10月14日	医療安全DVD上映会（3回）「医療事故を医療安全につなげること」増田法律事務所 増田聖子	109	
10月18日 10月27日	医療安全講演会「採血業務に潜む危険」	207	18日 152名 27日 55名
11月15日	医療安全講習会「ノンテクニカルスキルって何!？」	128	
11月29日	第8回医療安全大会「PTP包装シートの誤飲防止対策への取り組み」他4題	193	
12月1日	臨床検査セミナー 採血手技「医療安全と正確な検査値のために」	104	安全部共催
12月15日	北河内医療安全フォーラム「インスリン製剤の安全な使用を目指して」 講師：京都市立病院 看護部・糖尿病療養指導士 岩崎祐子	22	
12月20日	医療安全講習会「転ばぬ先の知恵～チームで取組む転倒・転落」	111	
12月26日 24年1月19日	第8回医療安全大会DVD上映会「PTP包装シートの誤飲防止対策への取り組み」他4題	121	26日 82名 19日 39名
平成24年1月17日	医療安全講習会『ちょっと待った「その薬」』	140	
2月21日	医療安全講習会「平成23年度のインシデント事例から」アナフィラキシーショック・体内に留置する医療材料の誤挿入等	187	
2月22日	医療情報研修会「診療記録と医療安全」 「より良い電子カルテの使い方」	109	安全部共催
2月24日 3月2日、3月12日	派遣業務委託研修「人間は誰でも間違える」	569	24日223名、2日201名、 12日145名
3月9日	医療安全講演会「医事紛争の実際とその対策」～医事紛争における医療従事者の責任～損保ジャパン 檜山勝敏	90	
3月12日	第2回 パス研究会 「クリニカルパスと医療安全」	32	安全部共催
3月14日	医療安全講習会「平成23年度まとめ」	81	安全部共催
	職場単位でのDVD研修会 (23年4月から24年3月まで開催分)	219	
	計	4,776	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	○有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 別紙②参照 	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 14 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ MRSAおよび多剤耐性菌の検出状況把握と対策 ・ 抗菌薬の使用状況調査と感受性の推移調査 ・ 抗菌薬使用報告書、TDM等の抗菌薬適正使用状況調査 ・ 院内感染発症時の対応、対策 ・ 感染対策研修会の企画および開催 ・ 院内ラウンド・サーベイランスの実施 ・ 血液培養陽性症例ラウンドの実施 ・ 針刺し事故の発生状況と事故防止対策の検討 ・ 職員のワクチンプログラムの作成・実施 ・ 感染防止対策地域連携 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 14 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 別紙③参照 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (○有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ ICTラウンドによる情報共有と改善 ・ 手指消毒剤の使用量調査・携帯式手指消毒剤の使用部署拡大 ・ 安全器材の導入 ・ 血液培養陽性症例ラウンド ・ マニュアルの改訂 	

別紙②

病院感染対策指針

感染対策委員会

I 病院感染対策に関する基本的な考え

関西医大附属枚方病院は高度先進医療を担う特定機能病院であり、さまざまな感染症の診療も行われていることから、そこで治療を受けている患者様は、常に感染の脅威にさらされている。病院の理念である「慈仁を心の鏡とした患者様本位の病院」を実現するためには、全ての職員が病院感染の防止に留意し、スタンダードプリコーションを日常的に実践し、感染等発生の際は、その原因の速やかな特定、制圧、終息を図ることが重要である。病院感染防止対策を全ての職員が把握し、適切な医療を提供できるよう、本指針を作成するものである。

II 感染対策委員会の設置

- 1、 病院長のもとに、感染制御部長を長とし、各専門職代表を構成員として組織した感染対策委員会を設け、月 1 回の定例会議を行う。感染対策委員会は、病院感染対策の意思決定機関であり、その指示の元に、実働部隊としてインフェクションコントロールチーム (ICT) を組織する。ICT は、感染制御部と協力し、各部署のリンクナース、リンクドクターと連携しつつ具体的な対策を講じる。
- 2、 感染対策委員会は次の内容について協議し、感染対策を推進する。
 - ① 病院感染対策指針及び感染対策マニュアルを作成し、見直す。
 - ② 病院感染対策に関する資料を収集し、職員へ周知する。
 - ③ 職員研修を企画する。
 - ④ 異常な感染症が発生した場合は、速やかに発生原因を究明して対策を立案し、対策を実行すべく全職員に周知徹底を図る。
 - ⑤ 必要に応じて患者への情報伝達を行い、患者の疑問、不安に答えると同時に、患者・家族の感染防止に対する協力を得る

III 病院感染対策マニュアル

全ての職員は、病院感染対策マニュアルを理解し、日常業務の中で実施しなければならない。特にスタンダードプリコーションは感染防止の基本であり、全ての職員が習熟する必要がある。マニュアルは定期的に改訂し、常に最新の感染対策が提示されるようにする。

IV 感染症の報告

- 1、 医師は、下記に掲げる者を診断したときは、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により、①は直ちに、②は 7 日以内に、感染制御部を通じて保健所長に届け出る。
 - ① 一類感染症の患者、二類感染症又は三類感染症の患者、又は無症状病原体保

有者及び新感染症に罹患していると疑われる者

- ② 四類感染症のうち、後天性免疫不全症候群、梅毒、マラリア、その他、厚生省令で定めるものの患者（無症状病原体保有者を含む）

2、 以下に掲げる感染症または保菌者が発生した場合は、施設内での感染を防御するために感染制御部に届ける。

- ①結核菌の排菌者
- ②EKC 発症者
- ③感染性胃腸炎（ノロウイルス、O-157 等）の保菌者
- ④疥癬
- ⑤インフルエンザ
- ⑥薬剤耐性菌保菌者（ MRSA、MDRP、VRE、その他 ）
- ⑦その他重要と思われる感染症

V 病院感染発生時の対応

病院感染が疑われる場合や、重大な感染症で嚴重な感染対策が必要な場合は、以下の 3 つのレベルで対応する

レベル 1・・・通常の感染対策で対応できる場合は、マニュアルに従って口頭で具体的対策を指示する。

レベル 2・・・委員会での決定が必要で、緊急を要しない場合は、定期の感染対策委員会で審議し、方針を決定する。

レベル 3・・・重大な感染症で早急な対応が必要な場合は、臨時の感染対策委員会を開催する。緊急の場合は感染制御部長の権限で開催し、病院長、感染制御部長、同副部長、感染対策専従者の出席で議決可能とする。また当該診療科、病棟の責任者も会に召集できる。

VI 職員研修の基本方針

枚方病院における感染対策の基本的な考えや具体策の周知徹底、さらには感染症に関わる最新の知識の習得のために、全職員を対象にした研修会を開く。

- ① 新入職の医師・看護師を対象としたオリエンテーションを入職にあわせて行う。看護助手、清掃業者、調理員などにも必要時に感染予防に関する研修を行う。
- ② その時々の特ピックスや院内で発生した感染症に関係した講演会を、有識者を招き年 2 回以上開催する。
- ③ 研修会や講演会に参加できなかった職員のために、資料や DVD を保存し、より多くの職員が最新の知見が得られるような環境を整える。

VII 患者への指針の公開

枚方病院での病院感染対策指針はホームページに掲載し、誰でも閲覧できるものとする。

附則

この指針は、平成 19 年 9 月 10 日から施行する。

附則

この指針は、平成 21 年 7 月 16 日から施行する。

附則

この指針は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。



別紙③

院内感染防止対策研修実施状況（平成23年度実績）

開催年月日	研 修 会 名	参加者数	備 考
23. 6. 13	手指衛生見直しませんか	307	
23. 6. 15	安全な食品を提供するために	76	
23. 7. 4~7	手指衛生見直しませんか DVD	435	
23. 8. 1	手指衛生見直しませんか 医局DVD	26	
23. 8. 31	研修医研修	54	
23. 9. 8	医療安全・感染講習会「これでいいんですか?医療安全なんでもQ&A	279	
23. 9. 12	臨床検査セミナー	122	
23. 9. 27	感染対策最新の潮流	155	
23. 10. 6~13	感染対策最新の潮流 DVD	521	
23. 10. 25	インフルエンザ・ノロウイルス	158	
23. 11. 14~17	インフルエンザ・ノロウイルス DVD	716	
23. 11. 29	医療安全大会	191	
23. 12. 16	感染対策講演会	112	
23. 11~24. 1	インフルエンザ・ノロウイルス DVD	141	
23. 12. 26	医療安全大会 DVD	81	
24. 1. 4	医療安全大会 DVD	19	
24. 1. 19	医療安全大会 DVD	39	
24. 1. 10~13	感染対策講演会 DVD	179	
24. 1. 4	感染対策講演会 DVD	17	
24. 2~3	委託業者対象研修	571	
24. 3. 14	ICT実践報告	139	
計		4338	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	■ 有 ・ 無
②	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
	・ 研修の主な内容： 前年度 新規経口抗凝固薬に関する安全使用ポイント ～ワルファリンと異なる作用メカニズムの臨床上の長所・短所を知る～ (別紙④) 今年度 平成25年2月5日(予定) ステロイド剤の副作用対策(案)	
③	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
	・ 手順書の作成 (■ 有 ・ 無) 「医薬品の安全使用のための業務に関する手順書」遵守に関する記録(別紙⑤) ・ 業務の主な内容： 医薬品の採用、医薬品の購入、調剤室における医薬品の管理、病棟・各部門への医薬品の供給、外来患者への医薬品使用、病棟における医薬品の管理、入院患者への医薬品使用、医薬品情報の収集・管理・提供、持参薬管理に関する事項、医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項、他施設との連携に関する事項	
④	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
	・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (■ 有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 厚生労働省から発出される医薬品・医療機器等安全性情報、緊急安全性情報、製薬企業から発出される安全性速報、適正使用情報、添付文書改訂情報等の国内情報に加え、海外規制機関から発出される医薬品安全性情報等の収集を行い、院内イントラネットの電子メール利用者すべてに電子メールを発信し、知り得た情報の周知を図っている。(別紙⑥)	

別紙④

医療安全講演会

日時：平成24年1月24日（火曜日）

17時30分～18時30分

場所：枚方病院13階 講堂

演題：

新規経口抗凝固薬に関する 安全使用のポイント

～ワルファリンと異なる作用メカニズムの
臨床上の長所・短所を知る～

講師：関西医科大学附属枚方病院 血液腫瘍内科部長

野村昌作 教授

経口抗凝固薬のワルファリンは、既に50年以上使用されていますが、作用発現時間や治療域など個体差による影響が大きく、個々に用量調節が必要とされています。最近、治療域が広く、かつ個体差による影響が少ないとされる、直接トロンビン阻害剤「プラザキサ」と経口FXa阻害剤「リクシアナ」が国内承認されましたが、これらの薬剤においても、重篤な出血性副作用などが報告されています。今回、当院でも採用となった新規経口抗凝固薬2剤の使用時における注意点など安全使用のポイントについてご講演頂きます。

年2回の受講が義務づけられている医療安全講習会に相当します。

(開始20分以降に来られた場合は、出席扱いとなりませんのでご注意ください。)

主催：医薬品安全管理責任者
医療安全管理部

問い合わせ先(事務局)：医療安全管理部(川瀬) 内線：3060・3061

別紙⑤

「医薬品の安全使用のための業務手順書」遵守に関する記録
(外来診療ブース・外来診療科別 自己点検結果)

2012.8.6作成

○:遵守している ー:該当しない

処方発行に関連する事項	S1・B	D1	G2	G4	G5	G6	G7	G10	H1	H2	i3	J1	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	遵守率
外来患者に対しては原則として院外処方箋を発行している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
入院中の他科受診の患者及び救急外来受診の患者に対しては原則として院内処方に対応している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
オーダーに際しては正確な入力を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
処方発行の際、安全確保のための注意喚起表示等に注意を払っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
院外処方変更時に医師が印字を手書きで修正する場合は、必要時、別途マニュアルの記載を確認している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
処方変更の場合には、その内容を記録入力している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
必要時に応じて処方変更内容及び処方変更目的を各職種へ連絡している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
照会により変更された内容などは診療側で診療録、指示簿等へ反映している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
照会や確認が円滑に行われるよう、職種間の連携体制を築いている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%

医薬品投与後に関する事項	S1・B	D1	G2	G4	G5	G6	G7	G10	H1	H2	i3	J1	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	遵守率
確実安全に投与されたことを確認している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
患者の訴えや臨床検査値、病態変化から副作用の可能性を検討している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
患者情報の収集に努め、副作用の初期症状、コンプライアンス等の訴えに注意している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
特に新薬の投与時や処方変更時には注意を払っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
治療域が狭い医薬品は、TDMを行う等、投与には細心の注意を払っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
必要に応じて薬物血中濃度モニタリング(TDM)による投与设计管理を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
必要に応じて定期的な検査を実施している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
副作用の早期発見及び重篤化回避のための体制整備に努めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
各部門が協力して緊急時のための体制を整備している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%

外来診療ブース:外来診療科

S1・B:放射線治療科 D1:救命救急センター G2:総合診療科 G4:小児科・小児外科 G5:整形外科 G6:血液・腫瘍内科 G7:化学療法センター G10:①内分泌・代謝内科,②乳腺外科,③リウマチ・膠原病科

H1:①呼吸器内科,②呼吸器外科,③消化器肝臓内科,④消化器外科 H2:内視鏡センター i3:①循環器内科,②心臓血管外科 J1:①脳神経外科,②精神神経科,③神経内科,④心療内科

K1:①腎泌尿器外科,②腎臓内科 K2:女性診療科 K3:生殖医療センター K4:眼科 K5:皮膚科 K6:形成外科 K7:耳鼻咽喉科 合計29外来診療科にて実施

医薬品の保管・補充等に関する事項	S1・B	D1	G2	G4	G5	G6	G7	G10	H1	H2	i3	J1	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	遵守率	
医薬品の保守管理については設置場所を定め、遵守している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
救急薬の品目及び数量の設定を薬剤部との合議により定めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
規制医薬品や特に安全管理が必要な医薬品については、配置は必要最低限としている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
消毒薬などは患者の手の届く場所には保管していない。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
消毒液を他容器に移し替えて保管していない。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
注射薬、吸入薬との取り間違い防止のため、他の容器に移し替えて保管していない。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
配置薬を使用した場合は実施済処方・注射・処置等のツールで入力している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
オーダ指示を確認の上、実施入力を行い、電子カルテに記録している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
定数配置分以外の処置薬、皮内反応等は手書き伝票にて請求している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
医薬品は定期的の供給時間が定められ、医薬品SPDにて搬送されている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%

他施設との連携に関する事項	S1・B	D1	G2	G4	G5	G6	G7	G10	H1	H2	i3	J1	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	遵守率	
処方発行時には常用量処方日数・併用・服用期間などに関するシステムによるチェック或いは警告表示を確認して必ず処方内容を点検し、オーダ発行している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
後発品に関する保険薬局への連絡は、医師がオーダ時に処方ツールで行える機能を利用し、後発品変更「可」「不可」が処方箋に印字された場合は、この出力内容を確認し、押印している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
保険薬局からの疑義照会の対応方法を確立している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
保険番号に関する問合せは相談窓口へのFAXを受けて、医事課が対応している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
例えば保険薬局からの問合せの際には直ちに返答せず、確認の為に折返し連絡する等して個人情報保護の観点から対策を講じている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%

外来診療ブース:外来診療科

S1・B:放射線治療科 D1:救命救急センター G2:総合診療科 G4:小児科・小児外科 G5:整形外科 G6:血液・腫瘍内科 G7:化学療法センター G10:①内分泌・代謝内科,②乳腺外科,③リウマチ・膠原病科

H1:①呼吸器内科,②呼吸器外科,③消化器肝臓内科,④消化器外科 H2:内視鏡センター i3:①循環器内科,②心臓血管外科 J1:①脳神経外科,②精神神経科,③神経内科,④心療内科

K1:①腎泌尿器外科,②腎臓内科 K2:女性診療科 K3:生殖医療センター K4:眼科 K5:皮膚科 K6:形成外科 K7:耳鼻咽喉科 合計29外来診療科にて実施

該当しない理由

1. 時間外診療時は外来院内処方箋にて対応

医薬品の保管・補充等に関する事項	CCU	4N	GICU	5N	5E	NICU	6N	6S	7N	7S	8N	8S	9N	9S	10N	10S	11N	11S	12N	12S	遵守率	
供給方法に関してはセット交換方法カート補充方式集計表補充方式等各部门の状況に応じ、薬剤部との合議の上、方式を決定している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
医薬品の保守管理については設置場所を定め、手順を遵守している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
定数配置薬品の管理を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
病棟における医薬品の在庫は事故防止や品質確保を考慮した定数管理を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
ショック時に使用する救急医薬品を配備している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
病棟に配置する医薬品の品目や数量は、必要最低限に留めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
規制医薬品や特に安全管理が必要な医薬品(要注意薬) [*] については病棟への配置は必要最低限としている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
配置医薬品の品目・数量を使用実績、必要性から定期的に見直している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
規制医薬品の保管については関係法規を遵守して管理を実施している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
麻薬については院内で定められた取扱手順を遵守している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
毒薬、向精神薬、及び特別な管理を必要とする医薬品(特別管理薬) [*] の取扱手順については枚方病院「毒薬・向精神薬等管理業務手順書」の記載事項を遵守している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
特別管理薬に関しては医療安全管理対策委員会で定めた院内の運用管理基準を遵守している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
毒薬・向精神薬など在庫数、使用期限等を確認している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
特定生物由来製品及び要注意薬には管理に注意を払っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
冷所保存の医薬品は冷蔵庫に保管している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
消毒薬などは患者の手の届く場所には保管していない。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
消毒液を他容器に移し替えて保管していない。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
消毒薬等の開封後の保管分については閉栓を確認する等、変質・汚染等の防止対策を講じている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
注射薬、吸入薬との取り間違い防止のため他の容器に移し替えて保管していない。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
処置薬については定期的に有効期間・使用期限の管理を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
救急カートについては、救急薬の品目及び数量の設定を薬剤部との合議により定めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
救急カートの保守管理については設置場所を定め、手順を遵守している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
配置薬を使用した場合は実施済処方・実施済注射処方等でオーダー入力している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
定数配置分以外の処置薬等は手書き伝票で請求している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
医薬品は定期の供給時間が定められ、SPDにて搬送されている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%

該当しない理由: 1 重症部門では、オーダー番号による管理をしておらず添付ラベルはない。
2 NICUでは持参薬はない。

手術・麻酔部門	医療安全管理部	手術室	初療・4N	CCU	GICU	NICU	輸血部	血液浄化センター	放射線部 (RI室を含む)	遵守率
電子カルテ、部門システムの情報を活用するなどして、携わるスタッフ間で患者情報の共有に努めている。	—	○	—	—	—	—	—	—	—	100%
医薬品の準備については、中央手術部内に輸液類、冷所保存医薬品等を定数配置し、手術部門用注射薬カート、各種手術用麻酔薬セット(オペボックス)等を置いている。	—	○	—	—	—	—	—	—	—	100%
規制医薬品の保管については、関係法規を遵守して管理を実施している。	—	○	—	—	—	—	—	—	—	100%
注射薬カートは2台とし、両カートの引出の医薬品配置は同一にし、1台は手術部に置き、1台は薬剤部に置いている。	—	○	—	—	—	—	—	—	—	100%
注射薬カートは医薬品SPDの定時搬送にて1日1回交換されている。	—	○	—	—	—	—	—	—	—	100%
注射薬カートについては、引出の内側と外側の両面に収載する医薬品の名称を表示して、医薬品取り違えの防止対策を講じている。	—	○	—	—	—	—	—	—	—	100%
オペボックスについては、収載品目の医薬品名称をボックス内に表示し、また各医薬品名称を印字したシールを活用する等、医薬品取り違え防止の対策を講じている。	—	○	—	—	—	—	—	—	—	100%
使用医薬品については手術部門システムに記録入力している。	—	○	—	—	—	—	—	—	—	100%
手術時に使用する麻薬については、手術部内に麻薬金庫を設置し、定数管理している。	—	○	—	—	—	—	—	—	—	100%
手術部金庫内設置の麻薬の使用については、麻酔科医師が麻薬処方箋を発行する際に「OPE」の定型コメントを選択し、入力している。	—	○	—	—	—	—	—	—	—	100%

救急部門・集中治療部門	医療安全管理部	手術室	初療・4N	CCU	GICU	NICU	輸血部	血液浄化センター	放射線部 (RI室を含む)	遵守率
電子カルテ、部門システムの情報を活用する等、携わるスタッフ間で患者情報の共有に努めている。	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100%
規制医薬品の保管については関係法規を遵守して管理を行っている。	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100%
特定生物由来製品、特に安全管理が必要な医薬品(要注意薬)には管理に注意を払っている。	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100%
特別管理薬に関しては、医療安全管理対策委員会で定めた院内の運用管理手順を周知徹底している。	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100%
毒薬、向精神薬、及び特別管理薬の取扱手順については枚方病院「毒薬向精神薬等管理業務手順書」の記載事項を遵守している。	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100%
注射薬と吸入薬との取り違え防止対策などを講じている。	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100%
手指消毒用以外の消毒薬を患者の手の届く場所に保管していない。	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100%
消毒液を他容器に移し替えて保管していない。	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100%
救急カートは常に即時使用可能な状態を維持している。	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100%
医薬品については、部門に輸液類、冷所保存医薬品等を定数配置し、救急カート、重症部門・集中治療室用注射薬カート等を置いている。	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100%
注射薬カートは2台とし、両カートの引出の医薬品配置は同一にし、1台は部門に置き、1台は薬剤部に置いている。	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100%
管理表に記載する品目については各カート毎に管理簿を配備している。	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100%
注射薬カートは医薬品SPD定時搬送にて1日1回交換されている。	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100%
注射薬カートについては、引出の内側と外側の両面に収納する医薬品の名称を表示して、医薬品取り違え防止対策を講じている。	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100%
医薬品の使用においては、医師の指示に基づいて実施している。	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100%
使用医薬品は電子カルテあるいは重症部門システムに入力している。	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100%

輸血・血液管理部門	医療安全管理部	手術室	初療・4N	CCU	GICU	NICU	輸血部	血液浄化センター	放射線部 (RI室を含む)	遵守率
輸血関連事項等については、院内の輸血療法委員会にて審議している。	—	—	—	—	—	—	○	—	—	100%
電子カルテの掲示板内「輸血部」の項に輸血療法委員会にて制定された輸血関連指針、及び輸血マニュアル類を掲示している。	—	—	—	—	—	—	○	—	—	100%
血液製剤の取扱にあたっては、指針、及びマニュアル類の記載事項を遵守している。	—	—	—	—	—	—	○	—	—	100%
保冷庫、冷凍庫の適切な温度管理を行っている。	—	—	—	—	—	—	○	—	—	100%
時間外休日等における供給管理体制を整備している。	—	—	—	—	—	—	○	—	—	100%
時間外検査製剤申込み等の対応は臨床検査部で行っている。	—	—	—	—	—	—	○	—	—	100%
交差適合試験結果の確認、製剤払出時の確認、リストバンドでの患者認証照合を行うなど、血液製剤に関する事故を防止する対策を講じている。	—	—	—	—	—	—	○	—	—	100%
輸血療法委員会にて緊急輸血マニュアルを取決め、現場での混乱を回避し、医療過誤を防止している。	—	—	—	—	—	—	○	—	—	100%

血液浄化療法部門関連	医療安全管理部	手術室	初療・4N	CCU	GICU	NICU	輸血部	血液浄化センター	放射線部 (RI室を含む)	遵守率
透析療法施行に際して必要な薬剤については、血液浄化センターに定数配置している。	—	—	—	—	—	—	—	○	—	100%
医薬品の使用においては、医師の指示に基づいて行っている。	—	—	—	—	—	—	—	○	—	100%
使用医薬品については、部門システムに入力している。	—	—	—	—	—	—	—	○	—	100%
集計表での補充薬剤は、医薬品SPDにより血液浄化センターへ1日1回定時搬送されている。	—	—	—	—	—	—	—	○	—	100%

画像診断部門 (中央放射線部)	医療安全管理部	手術室	初療・4N	CCU	GICU	NICU	輸血部	血液浄化センター	放射線部 (RI室を含む)	遵守率
電子カルテ、部門システムの情報を活用するなどして、携わるスタッフ間で患者情報の共有に努めている。	—	—	—	—	—	—	—	—	○	100%
造影剤の発注・保管等にあたっては、部門内での手順に従っている。	—	—	—	—	—	—	—	—	○	100%
造影剤の使用においては、医師の指示に基づいて実施している。	—	—	—	—	—	—	—	—	○	100%
造影剤の使用に際し、取扱については部門内での取決め等を遵守している。	—	—	—	—	—	—	—	—	○	100%
造影剤による副作用については患者に充分説明している。	—	—	—	—	—	—	—	—	○	100%
採用医薬品の取扱については放射線部で管理している。	—	—	—	—	—	—	—	—	○	100%
放射性医薬品の使用においては、医師の指示に基づいて実施している。	—	—	—	—	—	—	—	—	○	100%
放射性医薬品投与量については、医師が取決めた基準に従っている。	—	—	—	—	—	—	—	—	○	100%
医師の指示により、小児への投与量の算出は、ガイドラインに基づき年齢別に定められた成人投与量に対する割合を適用している。	—	—	—	—	—	—	—	—	○	100%
小児において体重が標準範囲から逸脱する場合は、医師が指示した計算式を用いて技師が投与量を算出し、医師が最終確認している。	—	—	—	—	—	—	—	—	○	100%
放射性医薬品の使用に際しては、院内で定められた「放射性医薬品の安全管理安全使用のための院内ガイドライン」を遵守している。	—	—	—	—	—	—	—	—	○	100%
放射性医薬品については出納廃棄調製使用等に関する記録を作成し、放射線部に保管している。	—	—	—	—	—	—	—	—	○	100%
出納廃棄調製使用等に関する記録簿の記載内容は、医薬品安全管理責任者により定期的に確認されている。	—	—	—	—	—	—	—	—	○	100%

別紙⑥

件名	受信日時
日付: 2 か月前以前	
医薬品・医療機器等安全性情報 (No.282)	2011/09/01...
Health Canada : スプリセルによる肺動脈性高血圧症について	2011/09/06...
MedWatch : TNFα遮断薬によるレジオネラ菌およびリステリア菌感染症について	2011/09/21...
Health Canada : GnRHアゴニストによる心臓関連の危険性について	2011/09/22...
MedWatch : ソフランによる心拍動異常の危険性について	2011/09/28...
プラザキサカプセルの「重大な副作用」への間質性肺炎の追記について	2011/09/28...
医薬品・医療機器等安全性情報 (No.283)	2011/09/29...
Health Canada : プラビックスのPPIとの併用に関する新たな勧告について	2011/10/03...
FDA : ベバシズマブによる卵巣機能不全等に関する添付文書改訂について	2011/10/24...
MedWatch : スプリセルによる肺動脈高血圧症について	2011/10/24...
医薬品・医療機器等安全性情報 (No.284)	2011/10/27...
PMDAからの医薬品適正使用のお願い No.3	2011/11/05...
PMDAからの医薬品適正使用のお願い No.4	2011/11/05...
PMDAからの医薬品適正使用のお願い No.2	2011/11/05...
EMA : 非選択的NSAIDによる心血管リスクに関する新たな審査について	2011/11/07...
EMA : ピオグリタゾンによる膀胱癌の危険性に関する見解の再確認について	2011/11/07...
Health Canada : ADHD治療薬ストラテラによる血圧上昇および心拍数増加について	2011/11/08...
MedWatch : 一部の精神科用薬使用患者に対するザイボックス投与時の重大なセロトニン症候群について	2011/11/09...
MedWatch : チャンピックスによる精神神経系有害事象に関する安全性審査の続報	2011/11/09...
MedWatch : ドロスプレノン含有経口避妊薬による静脈血栓塞栓症の危険率上昇に関する安全性情報の続報	2011/11/10...
MedWatch : ADHD治療薬と心血管イベントとの関連性に関する安全性審査の続報	2011/11/16...
TGA : プラザキサカプセルの使用による出血の危険性について	2011/11/17...
MedWatch : 若年者および若年成人におけるTNF遮断薬、アザチオプリン、メルカプトプリンによる肝脾T細胞リンパ腫に関する...	2011/11/17...
Health Canada : 重症筋無力症患者におけるキノロン系抗菌薬による筋脱力の危険率上昇について	2011/11/21...
MedWatch : フェノフィブラート製剤の添付文書改訂について	2011/11/22...
Health Canada : アバスチンによる卵巣機能不全について	2011/11/25...
EMA : プラザキサによる致死的出血に関する安全性情報の改訂について	2011/11/30...
医薬品・医療機器等安全性情報 (No.285)	2011/12/01...
PMDAからの医薬品適正使用のお願い No.5	2011/12/03...
関係学会等及び製薬企業からの医薬品の適正使用に関するお知らせ	2011/12/03...
FDA : アバスチンの乳癌適応取り消しの提示について	2011/12/05...
Health Canada : アバスチンの転移性乳癌適応の取り消しについて	2011/12/09...
Health Canada : 睡眠導入薬ゾルピデムによる複合性睡眠行動障害について	2011/12/12...
Health Canada : 高用量ウルソによる重大な肝臓有害事象について	2011/12/15...
Health Canada : ドロスプレノン含有経口避妊薬による血栓の危険率上昇に関する安全性情報 (続報)	2011/12/16...
MedWatch : プラザキサによる重大な出血に関する安全性審査について	2011/12/20...
ラミクタール錠の適正使用～重篤な皮膚障害と用法・用量 遵守～について	2011/12/21...
EMA : ソマトロピンと死亡の危険率上昇に関する審査結果について	2011/12/22...
MedWatch : 妊娠中のSSRI使用と新生児遷延性肺高血圧症の危険性について	2011/12/26...
Health Canada : ビスホスホネート製剤による大腿骨骨折の危険率上昇について	2011/12/26...
メトグルコ錠250mgの適正使用について	2011/12/27...
Health Canada : ALTITUDE試験の中止に伴うラジレスの安全性審査について	2011/12/28...
EMA : ALTITUDE試験終了後のラジレスに関する審査について	2011/12/28...
医薬品・医療機器等安全性情報 (No.286)	2011/12/28...
アルマールとアマリールの販売名類似による取り違え防止について	2012/01/12...
Health Canada : 小児における第2世代抗精神病薬による心血管代謝系有害反応について	2012/01/17...
ワーファリン 用法用量、使用上の注意改訂のお知らせ	2012/01/19...
Health Canada : チャンピックスの心血管安全性に関する添付文書改訂について	2012/01/23...
医薬品・医療機器等安全性情報 (No.287)	2012/01/26...
PMDAからの医薬品適正使用のお願い No.6	2012/01/26...
Health Canada : アリスキレン投与中の2型糖尿病患者における心血管および腎有害事象の危険性について	2012/02/01...
Health Canada : ドリベナムの使用に伴う治癒率低下および死亡率上昇について	2012/02/07...

件名	受信日時
ビグアナイド薬の適正使用に関するRecommendationについて	2012/02/08...
Health Canada：ベルケイドの髄腔内投与に伴う致死性の危険性について	2012/02/09...
MedWatch：PPI使用に伴うクロストリジウム・デフィシル関連下痢症について	2012/02/14...
「ガーダシル水性懸濁筋注シリンジ・水性懸濁筋注」および「サーバリックス」失神による転倒防止対策のお願い	2012/02/15...
Health Canada：PPI使用とクロストリジウム・デフィシル関連下痢症との関連性について	2012/02/20...
EMA：ラジレスに関する新たな投与禁忌について	2012/02/27...
医薬品・医療機器等安全性情報（No.288）	2012/03/01...
MedWatch：スタチンによる認知機能障害および血糖値上昇について	2012/03/19...
MedWatch：一部のスタチンとプロテアーゼ阻害薬との併用によるミオパチーの危険率上昇について	2012/03/19...
Health Canada：ドンペリドンによる重大な心室性不整脈および心臓突然死について	2012/03/23...
Health Canada：キノロン系抗菌薬による重症筋無力症症状の悪化について	2012/03/27...
医薬品・医療機器等安全性情報（No.289）	2012/04/03...
Health Canada：プラザキサによる出血の危険因子に関する新たな勧告について	2012/04/04...
Health Canada：5α-還元酵素阻害薬による高グレード前立腺癌の危険率上昇について	2012/04/09...
PMDAからの医薬品適正使用のお願い No.7	2012/04/10...
小児用肺炎球菌結合型ワクチン プレバナー水性懸濁皮下注「適切な接種時期」について	2012/04/10...
Health Canada：ベンゾカインによるメトヘモグロビン血症の危険性に関する注意喚起の強化について	2012/04/12...
MedWatch：ドロスピレノン含有経口避妊薬による血栓の危険率上昇に関する安全性審査（続報）について	2012/04/12...
Health Canada：フェンタニルによるセロトニン症候群について	2012/04/23...
Health Canada：若年者におけるミノサイクリンによる薬剤誘発性エリテマトーデスおよび自己免疫性肝炎について	2012/04/23...
Health Canada：アクトスによる膀胱癌の危険性について	2012/04/25...
肺炎球菌ワクチン「ニューモバックスNP」～再接種に関する注意のお願い～	2012/04/25...
PMDAからの医薬品適正使用のお願い No.8	2012/04/26...
PMDAからの医薬品適正使用のお願い No.9	2012/04/26...
医薬品・医療機器等安全性情報（No.290）	2012/04/26...
MedWatch：アリスキレンに関する新たな禁忌および警告について	2012/05/07...
C型慢性肝炎治療薬「テラビック錠250mg」投与中における急性腎不全等の重篤な腎機能障害について	2012/05/10...
Health Canada：レブラミドによる2次発がんの危険率上昇について	2012/05/14...
Health Canada：エシタロプラムによる心律動異常の危険性について	2012/05/15...
MedWatch：レブラミドによる2次発がんの危険率上昇（続報）	2012/05/16...
MedWatch：ジスロマックによる心血管死の危険率上昇について	2012/05/21...
EMA：プラザキサの安全性情報に関する改訂勧告について	2012/05/30...
マイスリーとマイスタンとの販売名類似による取り違えについて	2012/06/04...
Health Canada：ランマークによる重篤な低カルシウム血症について	2012/06/04...
医薬品・医療機器等安全性情報（No.291）	2012/06/28...
MedWatch：腎機能障害患者におけるセフェピム投与に伴う痙攣について	2012/07/09...
リリカカプセル 適正使用のお願い～高齢者における「めまい、傾眠、意識消失」について～	2012/07/12...
不整脈治療薬 シベノール錠50mg/100mgの用法・用量の調整と臨床検査および血中濃度測定について	2012/07/12...
Health Canada：膀胱癌治療薬 イムシスト膀胱注用81mgの供給状況について	2012/07/18...
子宮頸がん予防ワクチン（サーバリックス、ガーダシル）～失神による転倒防止のお願い～	2012/07/19...
Health Canada：肺高血圧症治療薬ヴェオリプスの新たな投与禁忌について	2012/07/20...
医薬品・医療機器等安全性情報（No.292）	2012/07/26...
日付: 先月	
EMA：カルシトニン製剤の骨粗鬆症における使用中止勧告について	2012/08/04...
Health Canada：カルシトニン製剤の長期使用に伴う癌の危険率上昇に関する審査について	2012/08/06...
日付: 2週間前	
MedWatch：小児におけるコデイン使用に伴う重篤な有害事象について	2012/08/20...
ランマーク皮下注120mgによる重篤な低カルシウム血症発現への注意のお願い	2012/08/23...

件名	受信日時 /
日付: 2 か月前以前	
肺炎球菌ワクチン「ニューモバックスNP」品薄について	2011/12/14 (水) ...
先発医薬品「注射用タゴシッド200mg」の診療マスタ再登録について	2012/01/04 (水) ...
「リン酸補正液」組成変更のお知らせ	2012/01/05 (木) ...
「フィニバックス点滴静注用0.5g」への切り替えについて	2012/02/29 (水) ...
後発医薬品「ハルスローOD錠0.2mg」の製品名変更について	2012/03/06 (火) ...
肺炎球菌ワクチン「ニューモバックスNP」の供給回復について	2012/03/13 (火) ...
「アルプミナー25%静注12.5g/50mL」への切り替えについて	2012/03/15 (木) ...
後発医薬品「アシロベック錠200」の製品名変更について	2012/03/19 (月) ...
新たに導入する後発医薬品の使用について	2012/04/13 (金) ...
4品目の後発医薬品への切り替えについて	2012/05/07 (月) ...
「ヘルベッサ-Rカプセル100mg」の後発医薬品への切り替えについて	2012/05/09 (水) ...
3品目の後発医薬品への切り替えについて	2012/05/14 (月) ...
後発医薬品「ブルバトシン注射液100mg」の製品名変更について	2012/05/17 (木) ...
「コニール錠4」の後発医薬品への切り替えについて	2012/05/25 (金) ...
「クラリス錠200」の後発医薬品への切り替えについて	2012/05/31 (木) ...

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 80 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 別紙⑦参照 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の作成 (○有 ・ 無) ・ 保守点検の主な内容： 別紙⑧参照 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： メーカーや厚生労働省から発信される医療機器安全情報を医療機器安全担当者、株式会社MCヘルスケアが収集する。当院に設置(使用)や関係しているものに関して医用工学センター及び医療機器安全管理責任者が書面にて連絡を受け、内容を吟味検討した上で、関連部署や職員に向けて書面やメールで情報発信を行っている。 医療機器安全管理責任者は月1回行われる医療安全管理委員会に出席し、適宜情報の交換を行う。 	

別紙⑦

2011年度医療機器従事者研修一覧

ID		研修会場	研修種類	分類	対象ME機器	出席者	研修項目	主催
340	2011/4/1	10S病棟処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	臨床工学技士4名・看護師9名	取扱い説明・回路構成・換気モード・アラーム対応・安全使用について	MEセンター
341	2011/4/4	10S病棟処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	臨床工学技士3名・看護師10名	取扱い説明・回路構成・換気モード・アラーム対応・安全使用について	MEセンター
355	2011/5/24	12N病棟処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	臨床工学技士2名・看護師5名	取扱い説明・回路構成・換気モード・アラーム対応・安全使用について	MEセンター
359	2011/6/4	GICUカンファレンスルーム	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(エビタ)	研修医13名・臨床工学技士1名	第3回研修医対象人工呼吸器説明会(取扱い説明・回路構成・換気モード・アラーム対応・安全使用について)	卒後臨床研修センター・ドレーゲル
363	2011/6/14	ICU	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(エビタ)	臨床工学技士1名・看護師20名	取扱い説明・回路構成・換気モード・アラーム対応・安全使用について・呼吸生理・VAPについて・ARDSについて	ドレーゲル
362	2011/6/17	ICU	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(エビタ)	臨床工学技士3名・看護師19名	取扱い説明・回路構成・換気モード・アラーム対応・安全使用について・呼吸生理・VAPについて・ARDSについて	ドレーゲル
372	2011/6/27	4N-ICU処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(エビタ)	臨床工学技士3名・看護師13名・医師4名	取扱い説明(操作方法・換気モード・アラーム対応・安全使用について)	MEセンター
374	2011/6/28	CCU	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(エビタ)	臨床工学技士2名・看護師13名	操作方法・換気モード・アラーム対応・安全使用について	MEセンター
375	2011/6/28	6S病棟処置室	特定機能研修	④除細動器(AED除く)	除細動器	臨床工学技士1名・看護師14名	除細動器講習会(原理・取扱い説明・物品説明・安全使用について)	日本光電・MEセンター
378	2011/7/5	CCU血管造影室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(エビタ)	臨床工学技士4名・看護師15名	操作方法・換気モード・アラーム対応・安全使用について	MEセンター

381	2011/7/15	CCU	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器 (BIPAP VISION)	臨床工学技士3名・看護師17名	操作方法・換気モード・アラーム対応・マスクフィッティング・安全使用について(バイパップビジョン)	MEセンター
382	2011/7/19	4N-ICU処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(エビタ)	臨床工学技士2名・看護師10名・医師4名	操作方法・換気モード・アラーム対応・安全使用について	MEセンター
387	2011/7/27	血液浄化センター	特定機能研修	③血液浄化装置	血液浄化装置 (JUN-505、JUN-55X)	臨床工学技士1名・医師5名	JUN-505の操作及びモニタリング・プライミング手順・安全使用について	MEセンター
415	2011/8/23	7S病棟カンファレンスルーム	特定機能研修	④除細動器(AED除く)	除細動器	臨床工学技士1名・看護師15名	除細動器講習会(原理・取扱い説明・物品説明・安全使用について)	日本光電・MEセンター
426	2011/9/9	8S病棟処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器 (BIPAP VISION)	臨床工学技士2名・看護師1名	操作方法・換気モード・アラーム対応・安全使用について・マスクフィッティング	MEセンター
435	2011/10/4	4N-ICU	特定機能研修	③血液浄化装置	血液浄化装置 (JUN-505、JUN-55X)	臨床工学技士2名・看護師7名	CHDFについて(回路構成と目的、適応疾患、原理、操作、安全使用について)	MEセンター
436	2011/10/4	GICUカンファレンスルーム	特定機能研修	③血液浄化装置	血液浄化装置 (JUN-505、JUN-55X)	臨床工学技士2名・看護師11名	CHDFについて(回路構成と目的、適応疾患、原理、操作、安全使用について)	MEセンター
443	2011/10/15	12N病棟処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器 (BIPAP VISION)	臨床工学技士2名・看護師3名	回路構成、設定値の変更法、アラーム、安全使用について	MEセンター
448	2011/10/20	手術室リカバリールーム	特定機能研修	④除細動器(AED除く)	除細動器	臨床工学技士1名・看護師20名	除細動器講習会(原理・取扱い説明・物品説明・安全使用について)	MEセンター
450	2011/10/24	手術室リカバリールーム	特定機能研修	④除細動器(AED除く)	除細動器	臨床工学技士1名・看護師20名	除細動器講習会(原理・取扱い説明・物品説明・安全使用について)	MEセンター
454	2011/11/5	GICUカンファレンスルーム	特定機能研修	①人工心肺及び補助循環	人工心肺	臨床工学技士11名	S5人工心肺装置の安全使用について(トラブル時対応と改定された安全勧告、安全基準設置への対応)	ソーリン
456	2011/11/10	GICUカンファレンスルーム	特定機能研修	④除細動器(AED除く)	除細動器	臨床工学技士8名	除細動器講習会(原理・取扱い説明・物品説明・安全使用について・使用時の安全点)	MEセンター

459	2011/11/24	GICUカンファレンス ルーム	特定機能研修	①人工心肺及び補 助循環	人工心肺(IABP)	臨床工学技士5名・看 護師13名	IABP(原理と効果、使用中の安全 管理、アラーム対応)	MEセンター
462	2011/11/25	4N-ICU	特定機能研修	③血液浄化装置	血液浄化装置 (TR-3000S)	臨床工学技士1名・看 護師9名	TR-3000S、7000S(モニター表示、 モード説明、安全使用における講 義)	MEセンター
461	2011/11/25	CCU血管造影室	特定機能研修	①人工心肺及び補 助循環	人工心肺(PCPS)	臨床工学技士2名・看 護師14名	PCPSについて(適応禁忌、構成、 安全使用について管理)	MEセンター
470	2012/2/1	GICUカンファレンス ルーム	特定機能研修	①人工心肺及び補 助循環	人工心肺	臨床工学技士1名・看 護師17名	IABP(原理と効果、使用中の安全 管理、アラーム対応)人工心肺安全 説明原理	MEセンター
471	2012/2/18	GICUカンファレンス ルーム	特定機能研修	①人工心肺及び補 助循環	人工心肺	臨床工学技士9名	遠心ポンプの特性(安全使用の為 の基礎知識、及びハンズオン)	(株)JMS
479	2012/3/1	MFICU	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザ ビーナ)	臨床工学技士1名・看 護師6名	人工呼吸器の基本的な操作方法、 使用前点検、配管接続の実施、安 全使用について	MEセンター
481	2012/3/8	4N-ICU処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(エビ タ)	臨床工学技士1名・看 護師5名	人工呼吸器の基本的な操作方法、 使用前点検、配管接続の実施、安 全使用について	MEセンター
480	2012/3/8	GICU Bed10	特定機能研修	③血液浄化装置	血液浄化装置 (TR-3000S)	臨床工学技士2名・看 護師15名	血液浄化装置取扱い説明(原理・ モニタリング・操作方法・安全使用 について)	MEセンター
491	2012/3/21	CCUカンファレンス ルーム	特定機能研修	③血液浄化装置	血液浄化装置 (JUN-505、JUN- 55X)	臨床工学技士1名、看 護師15名	透析の原理、トラブル、アラーム対 応、安全使用について	MEセンター
495	2012/3/30	CCU血管造影室	特定機能研修	①人工心肺及び補 助循環	人工心肺(IABP)	臨床工学技士2名、看 護師14名	IABPとは(カテ室~CCU流れ、 IABP基礎、IABP立上げ~CCU、安 全使用について)	MEセンター

平成23年度購入機器一覧

番号	購入年度	検取日	資産番号	部所 (診療科)	品名	メーカー	規格	設置場所	数量	定価(税抜)	研修	日時	出席者	研修項目	場所
1	23	6/8	2011-0001	手術部	ヘモクロン レスポンス	平和物産	HRS.110	手術室	1	1,160,000	×	/	使用経験有り		
2	23	7/21	2011-0002	麻酔科	無侵襲混合血酸素飽和度監視装置	ソマネティクス社	INVOS 5100C	手術室	1	5,205,000	○	平成23年 8/11	宇土ME他ME3名 大山 看護師 他看護師10名	機器使用説明	手術室内
3	23	8/4	2011-0003	産婦人科	超音波診断装置	GEヘルスケア	LOGIQ P5	11N内診室1	1	22,699,000	○	平成23年 8/4	中嶋Dr	機器使用説明	11N内診室1
4	23	8/8	2011-0004	手術部	電気メス アルゴンガスレーザー	コンメド	システム7550ABC	手術室	1	5,802,000	○	平成23年 8/4	中嶋Dr	機器使用説明	11N内診室1
5	23	8/9	2011-0005	医用工学センター	リフト式体重計	JUNKEN MEDICAL	スケールトロンクス 2002	医用工学センター	1	1,785,000	○	平成23年 8/9	竹内ME	機器使用説明	医用工学センター
6	23	8/11	2011-0006	麻酔科	ビジレオ モニター	エドワーズライフサイエンス	MHM1	GICU	1	3,540,000	×	/	使用経験有り		
7	23	8/11	2011-0007	麻酔科	ビジレオ モニター	エドワーズライフサイエンス	MHM1	GICU	1	3,540,000	×	/	使用経験有り		
8	23	8/22	2011-0008	外科	セントラルモニタ	日本光電	CNS-9601	9S	1	7,275,000	○	平成23年 8/22	大北副看護師長 他看護 師5名	機器使用説明	9S
9	23	8/22	2011-0009	医用工学センター	生体情報モニター用送信機	日本光電	ZS-930P	医用工学センター	1	540,000	×	/	使用経験有り		
10	23	8/22	2011-0010	医用工学センター	生体情報モニター用送信機	日本光電	ZS-930P	医用工学センター	1	540,000	×	/	使用経験有り		
11	23	8/22	2011-0011	医用工学センター	生体情報モニター用送信機	日本光電	ZS-930P	医用工学センター	1	540,000	×	/	使用経験有り		
12	23	8/22	2011-0012	医用工学センター	生体情報モニター用送信機	日本光電	ZS-930P	医用工学センター	1	540,000	×	/	使用経験有り		
13	23	8/22	2011-0013	医用工学センター	生体情報モニター用送信機	日本光電	ZS-930P	医用工学センター	1	540,000	×	/	使用経験有り		
14	23	8/22	2011-0014	医用工学センター	生体情報モニター用送信機	日本光電	ZS-930P	医用工学センター	1	540,000	×	/	使用経験有り		
15	23	8/22	2011-0015	医用工学センター	生体情報モニター用送信機	日本光電	ZS-930P	医用工学センター	1	540,000	×	/	使用経験有り		
16	23	8/22	2011-0016	医用工学センター	生体情報モニター用送信機	日本光電	ZS-930P	医用工学センター	1	540,000	×	/	使用経験有り		
17	23	8/25	2011-0017	血管造影IVR	デフィブリレータ	日本光電	TEC-5521	放射線科外来	1	1,569,450	○	平成23年 8/25	森技師他3名	機器使用説明	放射線科アン キオ室
18	23	10/20	2011-0018	臨床検査部	整理券は発行システム増設	テクノメディカ		中央採血室	1	5,200,000	×	/	使用経験有り		
19	23	10/24	2011-0019	病理部	プッシュプル型撮影台	近藤工業		病理部	1	2,170,000	○	平成23年 10/24	植村Dr・植田技師	機器使用説明	病理部
20	23	10/24	2011-0020	薬剤部	ノートパソコン	パナソニック	CF-S10FECDP	薬剤部長室	1	オープン価格	×	/	使用経験有り		

21	23	11/21	2011-0021	耳鼻咽喉科	簡易型睡眠時無呼吸モニター	チェスト	アプノモニタB-type	耳鼻科外来	1	1,000	×				使用経験有り		
22	23	11/21	2011-0022	耳鼻咽喉科	簡易型睡眠時無呼吸モニター	チェスト	アプノモニタB-type	耳鼻科外来	1	810,000	×				使用経験有り		
23	23	11/24	2011-0023	手術部	デスルフラン用気化器	トレーゲル	D-Vapor	手術室	1	890,000	×				使用経験有り		
24	23	12/6	2011-0024	手術部	デスルフラン用気化器	トレーゲル	D-Vapor	手術室	1	890,000	×				使用経験有り		
25	23	12/6	2011-0025	脳神経外科	顕微鏡下手術支援用内視鏡	町田製作所	MS-1000L	手術室	1	3,760,000	×				使用経験有り		
26	23	12/14	2011-0026	小児科	超音波診断装置	東芝メディカル	ARTIDA SSH-880 CV/W1	小児科外来	1	152,033,000	○	平成23年 12/14	内山・吉村Dr	機器使用説明	小児科外来		
27	23	12/26	2011-0027	循環器内科	超音波診断装置	フィリップス	CX50	CCU	1	14,984,000	○	平成23年 12/26	宮坂Dr	機器使用説明	CCU		
28	23	12/27	2011-0028	形成外科	超音波診断装置	GEヘルスケア	LOGIQ P6	形成外科外来	1	29,000,000	○	平成24年 2/15	田中・勝部・笹尾Dr他6名	機器使用説明	形成外科外来		
29	23	1/19	2011-0029	呼吸器外科	超音波気管支ファイバースコープシステム	オリンパス	EBUSシステム	内視鏡センター	1	12,340,000	○	平成24年 1/19	金田Dr	機器使用説明	内視鏡センター		
30	23	2/24	2011-0030	病理部	病理検査システムCAN-NET「病理」(機能追加)	サクラファインテック	CAN-Net	病理部	1	6,851,200	○	平成24年 2/24	岡本技師	機器使用説明	病理部		
31	23	2/9	2011-0031	管理課	ノートパソコン	ソニー	VPCZ219FJ/B	管理課	1	オープン価格	×				使用経験有り		
32	23	3/16	2011-0032	臨床検査部	自動分析装置	ベックマン・コールター	AU5800シリーズ	検体検査	1	181,300,000							
33	23	3/23	2011-0033	GICU	ペットパンウォッシャー	アトム	736A	GICU	1	2,894,000	○	平成24年 3/26	大原看護師 他看護師5名	機器使用説明	GICU		
34	23	3/23	2011-0034	5N病棟	ペットパンウォッシャー	アトム	736A	5N病棟	1	2,894,000	○	平成24年 3/27	大上看護師長 他看護師13名	機器使用説明	病棟		
35	23	3/23	2011-0035	手術部	高周波手術装置	アムコ	VIO300D	手術室	1	7,540,000	○	平成24年 3/29	竹内臨床工学技師 他臨床工学技師6名	機器使用説明	医用工学センター		
36	23	3/27	2011-0036	感染症管理部	人工呼吸器	ドレーゲル	EVITA XL	医用工学センター	1	7,632,500	×				使用経験有り		
37	23	3/30	2011-0037	放射線部	読影レポート用音声入力装置	アドバンスト・メディア	AmiVoice EX7 Rad	読影室	1	792,000	○	平成24年 4/3	黒川Dr・河Dr・河野Dr・池田Dr・前原Dr・上埜Dr	機器使用説明	放射線科外来		
38	23	3/30	2011-0038	放射線部	読影レポート用音声入力装置	アドバンスト・メディア	AmiVoice EX7 Rad	読影室	1	792,000	○	平成24年 4/3	黒川Dr・河Dr・河野Dr・池田Dr・前原Dr・上埜Dr	機器使用説明	放射線科外来		
39	23	3/30	2011-0039	放射線部	読影レポート用音声入力装置	アドバンスト・メディア	AmiVoice EX7 Rad	読影室	1	792,000	○	平成24年 4/3	黒川Dr・河Dr・河野Dr・池田Dr・前原Dr・上埜Dr	機器使用説明	放射線科外来		
40	23	3/30	2011-0040	放射線部	読影レポート用音声入力装置	アドバンスト・メディア	AmiVoice EX7 Rad	読影室	1	792,000	○	平成24年 4/3	黒川Dr・河Dr・河野Dr・池田Dr・前原Dr・上埜Dr	機器使用説明	放射線科外来		
41	23	3/30	2011-0041	放射線部	読影レポート用音声入力装置	アドバンスト・メディア	AmiVoice EX7 Rad	MRI室	1	792,000	○	平成24年 4/3	黒川Dr・河Dr・河野Dr・池田Dr・前原Dr・上埜Dr	機器使用説明	放射線科外来		
42	23	3/30	2011-0042	耳鼻咽喉科	鼻咽喉スコープシステム	PENTAX	EPK-S SYSTEM	耳鼻科外来	1	4,198,000	○	平成24年 3/28	宮本Dr	機器使用説明	耳鼻科外来		

43	23	3/30	2011-0043	感染症管理部	HEPA空気清浄機	ニテオ	ホスピガード・アイソクリーン	CCU	1	1,000	×		使用経験有り		
44	23	3/30	2011-0044	眼科	超音波白内障硝子体手術装置	NIDEK	CV-30000/APX	手術室	1	29,356,000	○	平成24年 3/26	高橋教授・山田Dr・他Dr 9名	機器使用説明	眼科外来
45	23	3/30	2011-0045	眼科	超音波白内障硝子体手術装置	NIDEK	CV-30000/APX	手術室	1	29,356,000	○	平成24年 3/26	高橋教授・山田Dr・他Dr 9名	機器使用説明	眼科外来
46	23	3/30	2011-0046	内視鏡センター	スペクトラム備品	オリンパス	CV-260SL CLV-260SL	内視鏡センター	1	2,362,500	×		使用経験有り		
47	23	3/30	2011-0047	循環器内科	超音波診断装置用プローブ	シーメンス	ACUSON SC2000用	超音波検査室	1	10,330,000	×		使用経験有り		
48	23	3/30	2011-0048	麻酔科	ビジランス ヘモダイナミックモニター	エドワーズライフサイエンス	VIG2	GICU	1	3,800,000	×		使用経験有り		
49	23	3/30	2011-0049	耳鼻咽喉科	S7ナビゲーションシステム	メドトロニックソファモアダ ネック	StealthStation S7 System	手術室	1	51,010,000	×		使用経験有り		
50	23	3/30	2011-0050	健康科学センター	ノートパソコン	パナソニック	Let's Note SX1	健康科学センター	1	オープン価格	×		使用経験有り		

別紙⑧

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成23年度保守点検計画

No.	基準法による分類	一般名	部署	保有台数 (台)	点検台数 (台)	点検回数/年 (1台当たり)	総点検 回数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考		
								予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際			
1	人工心肺装置及び補助循環装置	人工心肺装置	手術室	3	3	1	3																											
		心筋保護液供給装置	手術室	2	2	1	2								2																			
		IABP	SICU, CCU	3	3	1	3																					3	3					
		PCPS	CCU	1	1	1	1																									IABP セーフティディスク・バッテリー交換(2年毎)		
2	人工呼吸器	人工呼吸器	中央管理(MEセンター)	57	55	2	109	5		1	37	15		7	16	15		7		4	1	2	37							18	15	14	酸素センサー交換(1~1.5年)、流量センサー交換(3ヶ月~1年)、バッテリー(1年)等 ・2010年3月エビクス1台追加(点検は年1回) 11月に実施 ・ベビーログ 2012年4月 1台、5月 1台点検 ・パニングV 2012年4月 2台 ・SIPAP 点検回数が年2回から年1回に変更	
		搬送用呼吸器	初療、救急車、ドクターカー	5	5	1	5																										1	
	呼吸補助器	呼吸補助器	NICU	6	6	1	6																											
3	血液浄化装置	人工透析装置	血液浄化センター、他	11	11	1	11																									11	消耗部品定期点検・交換	
		持続的血液浄化装置	SICU, CCU, 他	7	7	1	7																									7	バッテリー交換	
4	除細動装置	除細動装置	各部署	25	25	2	52			25	19		1																				25	バッテリー交換(1.5~2年毎) 部替後、貯蔵のDC管理不従
5	閉鎖式保育器	閉鎖式保育器	NICU, 他	22	22	1	22																										22	過時酸素センサー交換・フィルター交換(3ヶ月毎) 18年バッテ リ交換
6	診療用高エネルギー放射線発生装置	診療用高エネルギー放射線発生装置	放射線科(リニアック室)	2	2	4	8			1	1		1																				1	
合計				145	143	-	229	0	5	26	18	38	15	0	7	21	16	1	7	5	1	1	50	24	43	22	14	2	26	1	4	53		

*毎月の点検回数は目安であり、機器の使用状況によって変更することがあります。
*各部署、メーカーと日程に関して打ち合わせが必要なものは、日程を変更することがあります。

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成23年度保守点検計画(機器別)

No	保守法による分類	品名	型式	メーカー	管理番号	購入年月日	製造番号	設置部署	保有台数(台)	点検台数(台)	点検回数/年(1台あたり)	保守計画	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考				
													予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定	実施
1	人工心肺装置及び補助循環装置	人工心肺装置	スタックカート S5	ソーリン	2010-0028-0	2010/11	48E01532	中央手術室	3	3	1	3																													
		人工心肺装置	スタックカート S3	ソーリン	2010-0028-3	2010/11	43503805																																		
		人工心肺装置	Bio Console 560	メトロニク	2010-0028-4	2010/11	560B101090																																		
		心臓保護灌漑供給装置	HCP-5000	泉工医科工業	-	1998/2	60014	中央手術室	2	2	1	2																													
		心臓保護灌漑供給装置	HCP-5000	泉工医科工業	-	2002/2	220143																																		
		軽便的人工心肺装置	SP-101	テルモ	ME-1001	2006/1	102006	GIOL	1	1	1	1																													
		大動脈内バルーンポンプ	CS98	エドワーズ	ME-1004	2000/-	583269-K9	GIOL																																	
CS98	エドワーズ		ME-1002	-	5807062-C3	CCU	3	3	1	3																															
	CS100	エドワーズ	ME-1003	2006/1	3A04321-15	CCU																																			

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成23年度保守点検計画(機器別)

No	基準法による分類	名称	型式	メーカー	管理番号	購入年月日	製造番号	設置部署	保有台数(台)	点検台数(台)	点検回數/年(1台当り)	累計回數	1月		3月		6月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考		
													予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施					
2	人工呼吸器	人工呼吸器	SABINA(F)	日本光電	ME-C001	2006/1	ARWL0257	CCU・ICU・4N・4N・ICU・5N病棟 55病棟・85病棟 35病棟・10N病棟	21	21	2	42																							
			SABINA(S)	日本光電	ME-C002	2006/1	ARWL0103																												
			SABINA(F)	日本光電	ME-C003	2006/1	ARWL0253																												
			SABINA(S)	日本光電	ME-C035	2006/1	ARWL0234																												
			SABINA(F)	日本光電	ME-C036	2006/1	ARWL0274																												
			SABINA(F)	日本光電	ME-C042	2006/1	ARWL0275																												
			SABINA(F)	日本光電	ME-C044	2006/1	ARWL0277																												
			SABINA(F)	日本光電	ME-C045	2006/1	ARWL0276																												
			SABINA(F)	日本光電	ME-C046	2006/1	ARWL0273																												
			SABINA(F)	日本光電	ME-C047	2006/1	ARWL0153																												
			SABINA(F)	日本光電	ME-C048	2006/1	ARWL0269																												
			SABINA(F)	日本光電	ME-C063	2006/1	ARWL0271																												
			SABINA(F)	日本光電	ME-C064	2006/1	ARWL0119																												
			SABINA(S)	日本光電	ME-C065	2006/1	ARWL0205																												
			SABINA(F)	日本光電	ME-C066	2006/1	ARWL0100																												
			SABINA(F)	日本光電	ME-C067	2006/1	ARWL0101																												
			SABINA(S)	日本光電	ME-C069	2006/1	ARWL0256																												
			SABINA(S)	日本光電	ME-C070	2006/1	ARWL0235																												
SABINA(F)	日本光電	ME-C071	2006/1	ARWL0102																															
SABINA(F)	日本光電	ME-C072	2006/1	ARWL0254																															
SABINA(F)	日本光電	ME-C073	2006/1	ARWL0118																															

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成23年度保守点検計画(機器別)

No	基準法による分類	名称	型式	メーカー	管理番号	購入年月日	製造番号	設置部署	保有台数(台)	点検台数(台)	点検回数/年(1台あたり)	検査回数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考										
													予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定	実施	予定	実施				
3	血液浄化装置	血液浄化装置	TR-3000M	東レメディカル	ME+001	2006/1	BSH063	人工透析室	11	11	11	11																																			
			TR-3000M	東レメディカル	ME+002	2006/1	BSH079																																								
			TR-3000M	東レメディカル	ME+003	2006/1	BSH074																																								
			TR-3000M	東レメディカル	ME+004	2006/1	BSH076																																								
			TR-3000M	東レメディカル	ME+005	2006/1	BSH076																																								
			TR-3000M	東レメディカル	ME+006	2006/1	BSH077																																								
			TR-3000M	東レメディカル	ME+007	2006/1	BSH078																																								
			TR-2000S	東レメディカル	ME+008	2006/1	A23C11																																								
			TR-2000S	東レメディカル	ME+009	2001/-	A14C27																																								
			TR-7000M	東レメディカル	ME+014	2006/1	A5XA1B																																								
			TR-7000S	東レメディカル	ME+026	2006/1	A9B05																																								
			JUN-506	ウベコ研	ME+017	2006/1	UA145																																								
			JUN-506	ウベコ研	ME+018	2006/1	UA144																																								
			JUN-506	ウベコ研	ME+019	2006/1	UA143																																								
JUN-506	ウベコ研	ME+020	2006/1	UA147																																											
JUN-50X	ウベコ研	ME+029	2009/3	UC085																																											
JUN-506	ウベコ研	ME+021	2006/1	UA146																																											
JUN-506	ウベコ研	ME+022	2006/1	UA160																																											

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成23年度保守点検計画(機器別)

No.	備品による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	購入年月日	製造番号	設置部署	保有台数(台)	点検台数(台)	点検回数/年(1台当たり)	点検回数(回)	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考																																					
													予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定	実施																																	
4	放射線装置	放射線装置	TEC-7731	日本光電	ME-F002	2006/1	00076	GGLP GCU-4H 4H-ICU-4H 6000W-95 5500W-104 5500W	26	28	2	52																																																														
			TEC-6100	日本光電	ME-F003	2006/1	04399																																																																			
			TEC-7731	日本光電	ME-F004	2006/1	00113																																																																			
			TEC-7731	日本光電	ME-F005	2006/1	00123																																																																			
			TEC-7731	日本光電	ME-F006	2006/1	00127																																																																			
			TEC-7731	日本光電	ME-F007	2006/1	00112																																																																			
			TEC-7731	日本光電	ME-F008	2006/1	00126																																																																			
			TEC-2312	日本光電	ME-F009	2006/1	10170																																																																			
			TEC-7731	日本光電	ME-F010	2006/1	00077																																																																			
			TEC-7731	日本光電	ME-F011	2006/1	00124																																																																			
			TEC-6100	日本光電	ME-F012	2006/1	04390																																																																			
			TEC-6100	日本光電	ME-F013	2006/1	04398																																																																			
			TEC-7721	日本光電	ME-F014	2006/1	00022																																																																			
			TEC-7721	日本光電	ME-F015	2006/1	00037																																																																			
			TEC-6100	日本光電	ME-F016	2006/1	04402																																																																			
			TEC-7721	日本光電	ME-F017	2006/1	00004																																																																			
			TEC-6100	日本光電	ME-F018	2006/1	0014																																																																			
			TEC-6100	日本光電	ME-F019	2006/1	04385																																																																			
			TEC-6100	日本光電	ME-F020	2006/1	04400																																																																			
			修理不能のため、更新機器検計中																																																																							
						TEC-7531	日本光電																																	ME-F025	2000/-	00910																																
						TEC-7731	日本光電																																	ME-F026	2006/1	00128																																
			TEC-6100	日本光電	ME-F027	2006/1	04401																																																																			
			TEC-7731	日本光電	ME-F028	2006/1	00125																																																																			
			TEC-7531	日本光電	ME-F029	2002/-	01370																																																																			
			TEC-2312	日本光電	ME-F030	2001/-	10271																																																																			

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成23年度保守点検計画(機器別)

No.	基準法による分類	名称	型式	メーカー	管理番号	購入年月日	製造番号	設置部署	保有台数(台)	点検台数(台)	点検回数/年(1台当り)	保守回数/年	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考					
													予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定	実施	
5	閉鎖式保育器	閉鎖式保育器	V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L001	2006/1	1525585	NCGU・5N調理	22	22	1	22																														
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L002	2006/1	1525586																																			
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L003	2006/1	1525591																																			
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L004	2006/1	1525587																																			
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L005	2006/1	1525590																																			
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L006	2006/1	1525594																																			
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L007	2006/1	15Y7019																																			
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L008	2006/1	15Y7018																																			
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L009	2006/1	15Z9992																																			
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L010	2006/1	15Z9989																																			
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L011	2006/1	15Z9993																																			
			V1-2100GI	アトムメディカル	ME-L012	1999/	100127620010007																																			
			V1-2100GI	アトムメディカル	ME-L013	2002/	143815																																			
			V1-2100GI	アトムメディカル	ME-L014	1999/	100127620010006																																			
			V-2100	アトムメディカル	ME-L015	1997/	7052607																																			
			V-2100	アトムメディカル	ME-L016	-	711411																																			
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L017	2006/1	1525588																																			
			V-808 21955	アトムメディカル	ME-L018	2006/1	1628808																																			
V1-2100GI	アトムメディカル	ME-L019	2000/	1050813																																						
V1-2100GI	アトムメディカル	ME-L020	1999/	100127620010008																																						
V1-2100GI	アトムメディカル	ME-L021	2002/	1343814																																						
V-808 21955	アトムメディカル	ME-L022	1999/																																							
5	経常用薬エネルギー放射線発生装置	経常用薬エネルギー放射線発生装置	Clinec 21EX	パリアンメディカル	-	2006/1	-	リニアック室	2	2	4	8																														
			Clinec 21EX	パリアンメディカル	-	2008/2	-																																			
合計									144	144	-	231	0	1	26	18	39	23	0	7	21	15	1	8	5	11	30	25	43	23	21	9	19	18	4	54						

* 毎月の点検回数は目安であり、機器の使用状況によって変更することがあります。
 * 経路投入機器の点検日程は変更することがあります。
 * 各部署、メーカーと日程に照らして打ち合わせが必要なのは、日程を変更することがあります。

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成23年度保守点検計画(その他)

No	器具名による分類	一般名	部署	保有台数 (台)	点検台数 (台)	点検回数/ 年(1台当り)	点検回数	実施者	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考	
									予定	実績	予定	実績	予定	実績	予定	実績	予定	実績	予定	実績	予定	実績	予定	実績	予定	実績	予定	実績	予定	実績	予定	実績		予定
1	麻酔器並びに麻酔器用呼吸装置及びガス吸引管のうち、麻酔器	麻酔器	手術室、他	21	21	2	42	ME				21													21						11	10		
2	電気手術器	電気メス	手術室	22	22	2	44	ME								22		18		1									22			22		
3	輸液ポンプ	輸液ポンプ	中央管理(MEセンター)	290	290	2	518	ME						259		85		90		40		12				260	5						3	*31台は使用しない装置として庫に保管 *点検回数を年1回に変更
4	輸液ポンプ	シリンジポンプ	中央管理(MEセンター)	19	19	3	57	ME			19	14				5	48	3				2				49							4/21 4台修理不能 8/16 1台修理不能 10/4 2台修理不能 *点検回数を年3回から年1回に変更	
5	輸液ポンプ	シリンジポンプ	中央管理(MEセンター)	282	282	2	564	ME						281		143		50		33		25				284	3							*点検回数を年1回に変更
5	輸液ポンプ	小型シリンジポンプ	中央管理(MEセンター) ペイン外来	16	16	2	32	ME						16											4	16							ペイン外来のみ部所と調整で差す未点検。 平成24年度早々に対応予定。	
合計				550	519	-	1287			0	6	19	20	21	14	556	1	22	236	16	158	3	76	3	40	21	4	568	3	22	12	0	35	

*毎月の点検回数は目安であり、機器の使用状況によって変更することがあります。